



Special #1 [特集 1]

APUで、いま私たちは
多文化環境での学び、教育、
そこで生まれる価値

Special #2 [特集 2]

【座談会】

動き出した司法制度改革と
ロースクール構想

Special #3 [特集 3]

学生のキャリア形成・進路・就職
健闘する後輩にあたたかいご支援を

輝くひと
brilliance 40

接客業を極めたい!
東京ディズニーシーという大舞台で。

今井 啓祐さん ('99理工)

(株)オリエンタルランド エンターテイメント本部

表紙の人



今井 啓祐さん (’99理工)

K e i s u k e I m a i

お世辞抜きで好感度100%の青年である。職場は、去る九月大々的に注目を集めて開園した“東京ディズニーシー”。大盛況の園内で来園者からの質問に丁寧に応じ、通路にごみを見つければすかさず拾って歩く。思わず声をかけられるような温かさや爽やかさが滲み出ている。

今井さんの“本業”は、人気ショーのひとつ“セイル・アウェイ”の運営にかかわる諸事の統轄。ディズニーキャラクターらが扮する船員が歌い踊り、そこに豪華客船乗客役の来園者まで参加して最高潮を迎える1回20分あまりのショーだが、出演者、企画や衣装の担当者、その他裏方など、関係者は300人程度にもぼる。その連絡調整、さまざまな調達、準備状態の確認などを一手に引き受けている。その時々天候や人出の具合によって臨機応変な対応が求められるが、夢いっぱいの華やかなステージをつくるため、演技や花火打ち上げ等のタイミングを1秒たりとも狂わせない完璧さを求めて、こまやかに心を配っている。

幼い頃から興味を持っていたのは実は建築。高校2年生の時、憧れの建築家がいるアメリカへ鉄砲玉のように留学し、3年後帰国した頃にはその興味が環境デザインの分野へと広がっていた。理工学部の環境システム工学科に入り、祭礼行事がごく日常的な空間をいかにして非日常化するかを研究することに。ちょうどこの頃、衣料品販売など接客のアルバイトを始めた。相手のためにできる限りのことをする、この充実感と楽しさを知り、大学院で建築・デザインの研究を続けようとしていた今井さんの心はぐらぐらと揺らいだ。迷い抜き、3回生の晩秋に出した結論は「接客の修行は若いうちに」。鉄砲玉から大砲の弾ほどに増えていたエネルギーで急速就職活動を開始し、接客の醍醐味をフルに味わえるレジャー産業の雄、(株)オリエンタルランドへの就職を勝ち取った。

現在は来園者を直接もてなす機会は多くはないが、ショーのスタッフと連絡を取り合う際にも「常に笑顔で」の接客精神を忘れない。「ショーは非日常という意味で祭礼空間と同じです。お客様の中に、どのタイミングでどんなパフォーマンスをするショーを出していくか。お客様の反応や動きまで想定してショーを組み立てることの中に、学生時代に学んだ環境デザインの考え方が自然に生きてきます」。一見結びつきそうにもない過去の経験を、見事に組み合わせ開花させる舞台を得た今井さん。

“自分らしい接客道”を探索する長い長い船旅が、いま始まった。

(写真・小幡 豊)

C

O N T E N T S

1 輝くひと 今井啓祐さん

Special #1
特集13 APUで、いま私たちは
多文化環境での学び、教育、そこで生まれる価値Special #2
特集28 動き出した司法制度改革と
ロースクール構想

水野武夫氏・福井啓介氏・市川正人氏

12 われら立命人
踊り、踊らせ、踊られ [2]
滝口潤子さん13 立命館秘話
衣笠球場
佐野哲夫さん14 現役学生が伝える いまどきキャンパスシーン
節約の工夫もまた楽し 下宿生生活事情

15 全国校友大会報告・校友会会計報告

16 校友会ネットワーク



18 立命館ファミリーカードコーナー

Special #3
特集320 学生のキャリア形成・進路・就職
健闘する後輩にあたたいご支援を23 立命館教学ココが知りたい
エクステンションセンターが展開する学びの支援

24 キャンパストピックス

26 学生のスポーツ&イベント

28 INFORMATION





Special #1

APUで、 いま私たちは

多文化環境での学び、教育、そこで生まれる価値

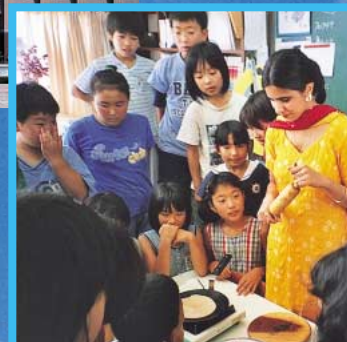
世界各地、65もの国・地域から学生が集まっている立命館アジア太平洋大学（APU）。

この日本初の本格的な多文化環境で、学生たち、教員たちは何を目指し、何を得て、次なる何を求めて努力しているのでしょうか。学生・教員の生の声を紹介します。



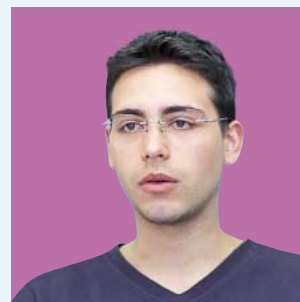
立命館アジア太平洋大学（APU）

2000年4月大分県別府市に開学。主にアジア太平洋地域を中心として、環境・観光・メディア等の社会学領域を研究対象とする「アジア太平洋学部」、ビジネス領域の「アジア太平洋マネジメント学部」の2学部があり、1902名（国内学生998名・国際学生904名、10月1日現在）が学んでいる。教員も約半数が外国籍。授業は日本語・英語の両方で開講され、専門教育はもちろん、言語教育・情報教育も効果的に行える最新の教育設備・システムを備えている。将来国際舞台で活躍したいという明確な目標をもった学生が多く、独特の多文化・多言語環境を生かした活気溢れるキャンパスが出来上がっている。





◀ 友達と各国語を教えあう深津さん(中央)



アジア太平洋学部2回生
スカンピエル・ミハイさん
SCUMPIERU, Mihai
■ ルーマニア出身

APU 入学の動機

スカンピエル ● 僕は父の仕事の関係で小学校の三年間と高校時代は東京で過ごしました。もちろん母国のルーマニアの大学に行くこともできたし、アメリカという選択肢もありました。でも、日本が好きなこと、今では六〇以上の国・地域から学生が集まるというユニークさが大きな魅力となって、APUに入ろうと決めました。

深津 ● 高校生の頃、一年間ニュージーランドに留学したことがあり、その時アジア太平洋という地域に興味を持ちました。ニュージーランドでの経験をもっと広げて行きたいと思ってここに来ました。

厳しいからこそ満足できる APUに来てよかった！

ウェスティン ● 私はアジアのフアイナンスがとてダイナミックで面白いと思っています。マネジメントのテクニックやプロセスについてはどこにいても学ぶことは可能です。アジアの他の街、例えば上海でも香港でも勉強はできるでしょう。けれどもいろんな文化やパーソナリティを比較対照できる度合いはほとんどの場合世界規模のAPUに



アジア太平洋マネジメント学部2回生
深津 陽子さん
FUKATSU, Yoko
■ 奈良県出身

は及びません。だからここに来ました。

APU 入学後の変化と満足感

深津 ● 私もお二人と同じく、マルチカルチャラル環境に対する期待が大きかったです。それでもやはりカルチャーショックがあり、まったく接したことのない国からの国際学生と出会って、自分が持っていたイメージが覆されることも度々でした。もちろん勉強の面、その厳しさ、要求される学習量も期待以上です。学んでいく中で、これまで漠然としていた自

分の興味・関心の中核が見え始めてきて、一方で知識を得て経験を積むにしたがって視野が広がったことも実感しています。友だちの中には多文化環境に触れるのは初めてという人も多いですが、みんな積極的に国際学生に話しかけていますよ。

スカンピエル ● 開学して一年半以上が過ぎ、良いところこれから何とかしなければならぬところをはっきり見えてきたのではないかと思います。勉強したいことについては、僕は満足しています。いろんな国の様子もよくわかります。でも生活面では思っていた以上に出身地ごとに学生が固まってしまうという印象も



アジア太平洋マネジメント学部2回生
ウェスティン・デビッドさん
WESTIN, David
■ カナダ出身

あります。卒業するまでにはいろんな経験を経て分かり合えるでしょうけれども、僕は日本語も英語も流暢なので、学生同士の橋渡しをしたいとは思っているのですが、やはり言葉の問題は難しいですね。

ウェスティン ● もし満足できていなかったら、もう他の大学へ行っちゃってしまいますよ笑。私は授業料も自分で払っているんだから。

APU 勉強の実感が得られる時

深津 ● プレゼンテーションの準備をしている時、特に、「ああ、勉強している」と思います。与えられたテーマを、個人あるいはグループで調べて、その成果を授業で発表するというものですが、APUでは規模の大きな授業であってもこの形式がよくとられています。全部英語でという場合もよくあるんです。このあいだは企業分析がテーマでした。投資するとしたら、どの会社はどういうふうにするかといったことですが、株の知識など全然無くて、まずそれから勉強を始めるければならなかったので大変でした。

スカンピエル ● 僕も同じです。社会に出れば、人とのグループワークの力も問われるわけで、そんな力がここで育成されているような気がします。

ウェスティン ● プレゼンテーションの準備にはインターネットを利用することも多くて、世界とつながりを持ちながら勉

APUで、いま私たちは

多文化環境での学び、教育、そこで生まれる価値

強できています。

APU 国内学生・国際学生が お互いをどう見ているか

ウェスティン ● 六〇%以上の国内学生は、とてもやる気を持っています。世界に出て行きたい、大切な仕事をやりたいという決意が感じられます。日本的な行動様式にとらわれがちな学生もいるけれども、私たちが接することで変わっていくと思います。

スカンピエル ● 伝統のある大学が好まれるという日本の文化があるでしょう。そういう親の反対を押し切って東京からここへ来て、お金も自分で出しているという友だちがいます。みんなAPUにもものすごく期待している。いま多少苦労をしても、将来のために頑張ろうとしている。今の緊迫した国際情勢について話さることもありますが、いい意味で驚きでした。日本の学生は知識があり、そして日本のことを、ここは良い、この部分は悪いと客観視してはつきりと言える。日本は無宗教だとよく言われるけれど、実際は多神教ですよ。そのせいのなか、物事をいろんな視点から見ることができ。日本の人のこういうところは素晴らしいと以前から思っています。もっとこの部分を世界にアピールしたいですね。

深津 ● 国際学生には立派な知識があつて、鋭い発言をする人がたくさんいます。他の大学へ行ってみたいけれど満足できなくてここへ来たという人も多くて、意欲がすごいんです。国際学生と協力する機会が一番多いのは、やはり言語の教え合いですね。私は語学研修でタイへ行き、引き続きタイ語を勉強しているので、タイ人の友だちに習いながら逆に日本語で

行われる授業のレジュメを解説してあげたりしています。

APU 勉強以外の活動

スカンピエル ● 別府の人たちとの交流も楽しいです。たまたまAPUの食堂に来ていた老人会の方と仲良くなり、友だち二〇人ほどと一緒にルーマニアの伝統的なダンスを紹介しに出かけたことがあります。別府はただの温泉地ではないですね。ここに長く暮らししてきた人たちの生活の歴史を聞くと、本当に面白い。ルーマニアに帰国した時この話をしたら、向こうの老人会の人たちが、ぜひ交流したいと言っていました。

ウェスティン ● 私も老人会の人とかやりたいのですが、別府のお年寄りの言葉、別府弁があまりわかりません(笑)。授業ではスタンダードジャパニーズを勉強しているから。今年から市内に住んで、”日本での暮らし”を始めたので、いろいろチャレンジしたいです。でも正直に言えば、APハウスのロビーで楽しくパーティーをしたりしたことを懐かし思うこともあります。

深津 ● 市民との交流の場に呼ばれる機会は国際学生のほうが多いですね。私はメンバーに国際学生が多い”Student Information Association of Asia Pacific Studies”というサークルや、キックボクシングのサークルで活動して、学生生活を楽しんでいます。アルバイトもしています。勉強第一なのが、勉強第一なので、効率を考えなければ。



▲スカンピエル君(左)とウェスティン君(右)

APU 将来の夢

ウェスティン ● ファイナンシャル関係のプロフェッショナルを目指しています。できればアジアでその仕事につきたいです。

深津 ● 私はマーケティングの専門家になりたいです。タイで働いてみたいとも思っています。でもというルートを経由してそれを実現させるかとても迷っています。あれもこれもという明るい迷いですが、それと笑。

スカンピエル ● 僕は国連で働きたいと思っています。僕が子どもの頃から日本語を勉強して今とても役に立っているように、APUでの経験は将来きつと活かせることを確信しています。

APU より素晴らしい APUにするために

スカンピエル ● アジア圏以外からももっと多くの先生方が来て下さるといいですね。世界各地との交換留学制度もより充実すればいいなあ。学生の側にも努力の余地はまだまだあるから、APUのみんなの協力でアカデミックな面のレベルを更に上げたいです。

ウェスティン ● 先生からは、実践的な話、実務経験の話をもっと聞きたいな。

深津 ● 勉強は厳しいし、忙しい。その分セメスターを一つ終えることにものすごく達成感があります。APUに来て本当によかったと思っています。しかし、社会ではAPUのことはまだあまり知られていません。人一倍勉強しているのに軽く見られたりしないかとちょっと心配です。少しでも多くの方にAPUのことを、ここで学ぶ私たちのことを知っていただければと思います。

母国のために国際社会で活躍 できる学生を送り出したい

● アジア太平洋学部 マニ、エー 教授 MANI, A.



私は国際都市であるシンガポールで生まれ育ち、アメリカやマレーシアで勉強し、研究のためにインドネシア、ブルネイほか、多くの国で過ごししてきました。ですから自分のもつ多文化経験をぜひ学生たちに伝えたいと思い、APUにやって来ました。「アジア太平洋の言語と文化」という科目などを教えていますが、もし同じ民族・人種の学生ばかりだったら、かえってやりにくかったでしょう。

学生たちはとてもインテリジェントでエネルギーに溢れています。外国から来た学生は、日本の言語や文化、日本それ自体を理解することから始めてがんばっ

ています。日本の学生は最初はシャイでした。そして、私に出会って、私の授業の方法を知ると、ショックを受けているようでもありました。学生自身にリサーチさせ、それを英語で発表させるというのですが、これをやりとげていい成績を取るためには相当に勉強しなければならぬからです。しかし、ほとんどの学生がついてきて、すばらしいプレゼンテーションをするようになっていきます。入学までに一生懸命学ぶという基本的態度を身につけていた人ならば、APUでも

各国の学生と競い合ってやっていけると
思います。

私自身も多くの国際学生と同じく日本で生活するのは始めてですので、日本の精神を理解するよう努めています。そして日本の学生に対しては、彼らにとって馴染みやすく、効果も上がりやすい方法、例えばグループワークで教育することを心がけています。

かつて日本の大学生は、日本国内で良き社会人となるために学んでいたと思います。しかしAPUでは日本のために世界のどこでも働ける人を育てようとしています。学生には国際的な環境の中でどのように自分を表現するかをぜひ体得してほしい。彼らが成長して、アジア太平洋地域と世界をすばらしい場所にしてくれることを願っています。

本心に学びたい学生のために 我々は格闘しています

● アジア太平洋マネジメント学部 久原 正治 教授



APUは大変なベンチャービジネスと言えらるでしょう。予想もつかないリスクをはらんだことを我々はスタートさせました。今、学生に真の満足を与えることを真剣に考えるべき次のステップにさしかかっていると思います。

実際APUの様々な、いろいろな意味で多様な学生を指導するのは並大抵のことではないのです。学生の学習能力や英語力には予想していた以上に格差があります。マネジメントの話をしようにも、企業システム自体が存在しない国から来ている学生もいて、競争だ価格だと言っても理解できません。一方では英語のネイティブスピーカーや、非常に優秀で積極

的に討論できるような人も同じ授業に出ています。

こういう環境の中でいかに教育効果を上げるか。よくできる学生たちの意欲はものすごいものがあります。クラスの中位以下に授業の焦点を合わせようものなら、ワッツと文句を言ってくる。個々の学生の満足度を上げられるように、実態に応じたカリキュラム改革は急務でしょうね。外国籍の先生方の中にも困惑があるようですが、私は「どうしたらいいか考えよう。一緒にやるか？ いやなら帰ればいい」と本音でぶつかっています。

ここから前向きな議論が始まるのです。

困難だけれども、これは伸びるチャンスでもあります。APUは立命館学園を活性化させる鍵になりうると考えます。しかし、皆さんが我々の様子を、新しい面白いとただ眺めているだけではそれは不可能です。中に入って、APUというところを体験しなければ、例えば立命館大学の先生方も三年交代くらいでここへ来て、英語で授業をし、学生と格闘して、本当に教育を受けたいと切望している学生を自分はこの程度満足させられるのかを確かめてみればいいと思います。校友の皆さんも、APUを訪れたら下手な英語でもいいから留学生に自分の人生経験を語ってみるといいのではないのでしょうか。関係者が皆でAPUのインターナショナルな環境を体感し、問題を解決しようとするれば、立命館学園全体に国際的な競争力がつくと思いますよ。

異文化交流キャンパスが生む
教育効果に目を見張っています

●坂本和一学長

■学生たちの学びの様子を
よくご覧になりますか。

APUでは、どんな国際系科目を用意するかといったレベルではなく、キャンパス自体を本格的に国際化し、その環境を使う、つまりマルチカルチュラル環境そのものを教育の手段にしようという構想実践しているわけですが、その効果には予想以上のものがあり、ずいぶん多くの発見がありました。

外国から来ている学生は、高い意欲や積極性を、授業はもちろん他の活動場面でも随所に発揮し、それに日本の学生は大いに刺激を受け、活性化されています。彼らは初めは戸惑ったと思いますよ。でも、すぐに、「自分たちも負けてはいられない」と意欲がわいてきた様子です。何しろ半数が国際学生、今年秋の入学式時点で六四の国・地域から来ているのですが、彼らは自分のもっている文化や価値観をストレートに表現して、自分を生かそうとする。こういう中で、日本の学生は改めて、日本人とは、日本の文化とは何かということを考えざるを得ない。単に語学力が高まるといった狭い意味ではなく、ものの考え方や生活のスタイルといったものを日本人学生たちは大きく変えつつあると思います。

異なる他者と接し、刺激を受け、自身を深く考える。こういう、日本の学生に積極的なインパクトを与える場が今までの日本の大学には欠けていたと改めて思いました。この環境に身を置けば従来型の日本の教育だけを受けてきた若者であっても確実に伸びます。

環境だけにゆだねるのではなく、先生方が学生に要求するものも多いです。毎時間課される宿題や意見表明を求められる機会が多い。学生はもたもたしてられない。しかしこれが世界の大学教育のスタンダードなのです。APUの教員には、外国で教育を受けたり教鞭をとった経験のある方が多いので、学生の気持ちを盛り上げながら導いていくのが得意です。いまAPUでは、「環境」とそこで行われる教育の「システム」がうまくかみあいつつあります。

■学生たちの、キャンパスの外での
活躍も目立ちますね。

はい。地域の行事に参加したり、地元の小学校の「国際理解教室」に招かれたりと、別府市民との交流が活発です。特に留学生は、四年

間で日本のことを何でも吸収しようと思

気盛んなので、町の人に積極的に日本語で話し掛けるし、行儀が
いいと、愛さ
れています。
そんな姿を見
ていると、APU

を別府という比較的に中規模な都市に作って良かったとつくづく思います。ここでは「コミュニティの中で学生の存在がはつきりしますから」



■立命館全体のレベルアップのために
もAPUへの期待は大きいですね

そうですね。APUを作ったのは立命館学園全体の国際化を飛躍的に進めたい、そのために先端的な部分を持ちたいという思いがあったからです。立命館大学・APU双方の学生がお互いに高め合おうと、一セメスター間、相手の大学で学ぶ制度も始まりました。APUで起こっている事を学園全体に波及させたい。これが私たちの願いです。国際化に限らず、いろいろな側面で、大学の外の世界との交流が多いほど教育効果が上がるという学園全体の共通認識ができたと思っています。

■今後のさらなるステップに向けて
の抱負などをお聞かせください。

今回は思わぬテロ事件がありました。これはAPUにとって国際相互理解を深める大きな機会です。宗教や文化の違う学生たちが机を並べ、食事をし、語り合いながら、相手の立場を尊重しなければ生きていけないことを肌で学んでいます。今こそ皆が真剣に相互理解のための対話をし、研究を深めるといふ、APUらしい価値を作り出していかなければと思います。

APUには世界中から積極的に頭脳明晰な学生が集まっています。日本の若者はぜひここで自分を磨いてほしいですね。どんどんチャレンジして下さい。



座談会

動き出した司法制度改革と
ロースクール構想

内閣に設けられた司法制度改革審議会は、約二年の審議を経て二〇〇一年六月一二日に「司法制度改革審議会意見書」を小泉首相に提出しました。

いま、抜本的な司法改革が始まるうとしています。

これを受けて、新時代の法曹養成機関としての法科大学院(ロースクール)に注目が集まり、立命館大学も二〇〇四年四月の開学を目指して意欲的に準備を進めています。

司法制度改革の概要と、その中のロースクールの役割、

そして立命館大学が理想とするロースクールの姿について語り合っていました。

司会者



弁護士・立命館大学校友会広報委員長
尾崎 敬則 (70法)

司法制度改革の経緯

【尾崎】司法制度改革の具体像が見えてきつつありますが、どのような問題意識のもとで、どんな改革がなされるのかを簡単に説明いただけますか。

【水野】戦後五〇年が過ぎ、行政その他の改革議論がされる中で、司法制度もその機能を十分に果たせていないと言われ

大阪弁護士会会長・
日本弁護士連合会副会長

水野 武夫氏 (64法)



1964年立命館大学法学部卒業。国税庁に勤務の後、65年司法試験合格。68年大阪弁護士会に登録。税務関係を得意としつつ、登録2年目から関わった大阪国際空港公害訴訟が縁で、環境問題にも深く通じている。学生時代は法友会はじめ、RBC、メンネルコールなどで活動。現在も多趣味。

るようになってきました。日弁連は、もう十年來司法制度改革を訴えてきたわけですが、ようやくその必要性が認識されたということなのです。今回の意見書の方針を一言で言えば、「国民に開かれた国民に身近な司法制度をつくる」、これに尽きると思います。そして第1は、国民にとって便利で迅速、理解しやすい制

度にする。第二は、裁判官・検察官・弁護士といった法曹の数を増やし、質の面でもレベルアップをはかる。第三は、国民が訴訟手続きに参加する制度を導入する。大きな柱はこの三つで、日弁連では「市民による市民のための司法」という言い方をしております。司法制度改革審議会での議論は非常に内容が濃く、意見書には我々が予測していた以上の成果が盛り込まれていますので、評価をしています。

【福井】従来の裁判制度は、手続きの点でも、審判が下されるスピードの点でも非常に不便でした。これを市民にとって使い勝手のいいものにしてほしいということです。裁判を、便利に速くするためには法曹人口を増やさねばなりません。また複雑かつ急速な社会の変化、特にグローバル化の進展や各種規制緩和の進行などを受けて、法曹が身につけるべき資質・力量は一層高く、幅広くなってきました。このような法曹養成の量・質両面にかかわるのがロースクール設置構想です。そして司法を市民の手に取り戻すためには、市民が裁判に主体的にかかわっていく必要があるというわけで、刑事裁判における裁判員制度の導入といった提言もなされているのです。意見書では

これらの骨子に付随する個々の制度、新司法試験のあり方や、法曹三者それぞれが示されています。京都弁護士会も、現時点においてはこれを大方評価しており、今後我々がいかに発展させていくかということを考えています。

【尾崎】改革はどのように、どんなスケジュールで行われるのでしょうか。

【水野】総理大臣が本部長、関係全員がメンバーとなる司法制度改革推進本部が組織され、その下に五〇名程度でつくる事務局ができます。ここには裁判所、法務省をはじめとする行政官庁、そして日弁連からも出向者が出ていきます。意見書を受けて、具体的にどのような制度をつくるのか、その原案を設計していくのです。例えば、裁判員制度の導入は決まっている。しかし具体的にどういう裁判員制度にするのかはこれから検討しなければなりません。ロースクールの設置基準等々についても同様です。我々としては官僚主導にならないように、それぞれのテーマについて検討会のようなものを設けて、そこに各界の代表、とりわけユーザの代表に入ってもらいながら、十分に情報公開をして決めていってほしいと強く要求しています。この改革に関する



法案が一番多く出てくるのは二〇〇三年の通常国会だと言われていますが、再来年の一月ですから、遅くとも来年の秋にはかなりの法案が決まっていけないといけませんね。テーマによって多少の時間差は生じるにしろ、この改革は二〇〇四年中にやり遂げようというのが、いまの計画です。

【市川】 ロースクール構想がかかわる法曹養成制度改革についての議論は、他に先駆けて進んでいるようです。来年秋の臨時国会で、新司法試験関係等の法律は成立するのではないかと言われています。

【福井】 裁判員制度あたりが最後になるかもしれませんね。



京都弁護士会会長・
日本弁護士連合会常務理事
福井 啓介氏（68法）

1968年立命館大学法学部卒業。69年司法試験合格。72年京都弁護士会に登録。民事から刑事、企業法務に至るまで幅広い経験を持ち、京都弁護士会では、丹後地域の弁護士過疎問題対策など司法制度改革に関わる活動をリードしてきた。

【尾崎】 ロースクールについての文部科学省の動きを教えてくださいませんか。

【市川】 そうですね。いま文部科学省では、中央教育審議会大学分科会の法科大学院部会というところで、ロースクールの設置基準等について検討しています。教員が何人必要かといった外形的な基準については、たぶん二〇〇一年内にその原案が出てくるだろうと思います。そして、個々のロースクールの教育水準や入学者選抜のあり方、修了認定の厳格性などを、第三者機関が審査し適格認定をするということも決まっていますので、その評価機関についての議論の中でもロー

スクールの実質的な中身について触れられるでしょうね。

ロースクール構想の背景

【尾崎】 ロースクール構想が出てきた理由について、もう少し詳しく教えてくださいませんか。

【市川】 司法制度を国民に身近なものにするためには、制度そのものを変えていくことは当然必要なはずですけれども、もう一方で、その担い手である法曹についても人員増と能力アップをはかることが急務になってきたということでしょう。現代社会において新しく発生してくる法的問題に主体的にかかわっていける力量をもった質の高い法曹を多数生み出さねばならないということです。二〇一〇年には、司法試験合格者を現在の約三倍三〇〇〇人程度にまで増やそうということです。ロースクールの役割は大きいのです。

【尾崎】 司法試験の合格者を増やして司法修習生に対する教育を充実させるだけではいけないのでしょうか。

【水野】 いや、その前提となる現在の司法試験制度自体に問題がありますからね。

【福井】 まず、現行の司法試験の科目が非常に基礎的な部分だけに限られていて、現代社会で求められる法的知識を試すにはおおよそふさわしくないということが挙げられます。基本六法（憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法）だけでなく、受験生のほうも試験科目ばかり勉強して、ほかの部分はまったく勉強しない。最近では、司法試験受験のための専門予備校もありまして、大学入學と同時に専門予備校に通い始め、司法試験突破だけを考えて生活する受験生も多くいます。そのため現実には法曹として活躍するために最低限必要な知

立命館大学法学部教授・
法科大学院設置委員会事務局長
市川 正人氏



1979年京都大学法学部卒業。84年同大学院法学研究科博士後期課程学修認定退学。京都大学法学部助手、三重大学人文学部助教授を経て、94年より立命館大学法学部教授。主な研究分野は憲法訴訟論。99年11月より立命館大学ロースクール推進委員会事務局長。2001年2月より立命館大学法科大学院設置委員会事務局長。

識・経験すら欠如した状態の法曹が養成されかねないわけです。その結果、一定の型にはまったような、平たく言えば小粒な修習生が増えてきたと広く指摘されているのです。これからの法曹には、もっと幅広い知識・技能、例えば税金のことや、国際的な民事紛争解決に対する素養であるとか、外国語の力といったものも必要でしょう。倫理を身につけていることも重要です。ところが、現在の司法試験制度のもとでは結果的にこれらはほとんど顧みられなくなっているのです。豊かで幅広い能力を法曹志願者に習得させる必要を考えれば、現行司法試験には弊害があると思います。

【水野】 現在、法曹になるための教育をどこがやっているかといえば、大学の法学部ではなくて試験科目に特化した専門予備校ですよ。しかもそれは、早く合格するということだけを目的とした教育です。合格すると司法研修所で一年半の修習をしますが、ここでの教育は実務修習などの技術的なことが中心で、それ以上のことはできません。だから福井先生がおっしゃったような幅広いことを学ぶ場はないんですよ。今の合格者には、これではいかんじゃないか、やはり法曹養成のための教育内容やその方法について考え直そうということで出てきたのが、ロースクール構想なのです。

【尾崎】法曹の養成のされ方がそこまで問題を含んでいるとすれば、それは大学での法学教育の失敗であるとも言えるのではありませんか。

【水野】いや、大学法学部だけを責めることはできません。しかし少なくとも法学部が実務界との連携という面において怠慢であったのは事実で、その間隙を司法試験予備校が見事に埋めてしまったと言っことはできると思います。

【市川】大学法学部の問題ですが、基本的には法学部自体のありようが多様化してきているわけです。戦後、高度経済成長の中で、私学を中心に法学部の設立が増えまして、現在一年間に四万五千人の法学部生が生まれています。そこで、社会に広く法的素養を持った人材を送り出す、つまりジェネラリストを養成するという側面が非常に強くなっています。しかし一方で、法曹を目指す人も当然いる。こういうジレンマを、どこの法学部も多少少なかれ持ってきたのではないかと思います。学部のある方も、学生の層も多様化が進んでいく中で、司法試験受験に特化したようなレベルでの授業はなかなかできません。そこで、コース制・専攻制にしたり、あるいは法職課程でありますとか、大学院法学研究科の中に司法試験受験を前提としたコースを設けたりしながら、いろいろと対応はしてきました。このように努力はしてきましたが、しかしその司法試験への対応の度合いが十分ではなかったということは認めざるを得ません。この背景にはやはり、昔に比べてやや門戸が広がったといっても、司法試験が合格率三%程度という超難関試験であり続けているということがあると思います。こういう構造の間隙を縫って専門予備校が流行り出し、法学部は苦しい状況になってきたのだと思います。他大学での話ですが、司法試験を受けよ

うとする法学部生が、専門予備校の授業時間帯をまず考えてから、空いている時間に大学の授業を受けるという状況まで見られるとのこと。立命館大学ではエクステンションセンターをつくって、司法試験に特化した教育を、学部教育と乖離しない形で、課外教育としても行っていますから、授業の空洞化という問題はあまり生じていないのですが。

ロースクールとはどんな学校か

【尾崎】となると、法曹養成機関としてのロースクールに求められるものは多いですね。専門教育だけでなく、人間の厚みを増すための教養的な要素や、倫理から何から、ロースクール構想はまだ定まらない部分も多いようですが、どのような学校をイメージしたらよろしいのでしょうか。

【水野】ロースクールは、学校教育法上は大学院となります。標準の修業年限は

三年、場合によっては二年での修了も認められることになりそうです。入学者選抜にあたってのキーワードは、「公平性・開放性・多様性」だと考えます。法学部出身であるかどうかにはこだわらず、社会人も含め、いろいろな背景・経歴を持った人たちに門戸を開くものです。逆に言えば、法学部で学んだことのない人でも、ロースクールでしっかりと勉強すれば次代を担う立派な法曹になれるような充実した内容の、当然かなり厳しい教育がここではなされるはずだということです。

【福井】そして、新司法試験は、ロースクール修了者の七・八割が合格できるような内容になるということです。試験対策ではなく、真の実力を身につけることに学生のエネルギーを注いでもらうということですね。

【尾崎】法学部出身でなくても入れるということ。入学者選抜には法律の試験はないということですか。

【水野】アメリカにLSAT (Law School Admission Test) というものがありまして、それをモデルにしようと議論されておりまして、いわゆる法曹としての適性試験が全国統一に行われると言われています。

【市川】こんな時あなたならどうするかとか、どうするのが倫理的に一番いいかといったことを尋ねる試験のようですね。それに加えて各ロースクールにおいて、受験生に集団討論してもらったり、作文を書いてももらったりして、多様な形でその人の能力をはかるような試験をする予定です。また、二年での修了の希望者には法律科目の試験もなされるでしょう。受験希望の皆さんは、仮に法学以外の分野であっても、それについては自分是一流だという自信を持てるほどしっかりと勉強し、社会的経験も含めて豊かな学





学生生活を送っておいでいただきたいです。いかに学生生活を全うされたかが反映されるような入試を、我々としては考えたと思っています。

【福井】この入学者選抜の方法というのが、ロースクールの運営が成功するかどうかの鍵を握ると思うんですね。法曹としての良い素質を持った人たちをどうやって選びだしていくか。あるべき法曹としてどんな人が適格か節度を持って選択し、他学部出身の優秀な人たちも受け入れてロースクールの活性化をはかるという根拠がぜひとも必要だと思っています。

【尾崎】他学部出身者をどの程度受け入れるかで、学校としての様相がかなり変わってきそうですね。

【水野】弁護士会としては、少なくとも半分くらいは他学部から入ってきてほしいのです。我々の発想は、ロースクールとは、一定の基礎的な教育を既に受けた人に対して、法曹としての教育を三年間かけて一からやることだということです。ところが大学側、特に司法試験合格者をたくさん出している大学ほど、ロースクールを法学部の延長として捉える傾向が強いようで、他学部出身者はせいぜい三割程度、法学部出身者については二年での修了を積極的に認めるという案をお持ちのところもあるようです。基本的立場の違いですが、この年末年始には各

関係者によるいわば綱引きの結果が、原案として現れてくるでしょう。今が山場です。

【市川】立命館大学がロースクールに対して抱いているイメージは、大学の中では日弁連がおっしゃることに比較的近い方だと思っています。基本は三年、学生の多様性を重視します。しかし現実問題として、最初から法学部以外の出身者が半分もいるというのは、ちょっと無理だろうとは思っています。誰でもロースクールへ入れるかと言ったらそれは大間違いで、別の分野でしっかりと勉強し、法律知識を持たずに入学することのハンディを覆せるだけの蓄積と意欲を持った人でなければハードな教育に堪えられないでしょう。そういう優れた人々をできる限り引き込むような形でロースクールの制度を磨きながら、徐々に他学部出身者の割合を増やしていくということではどうでしょうか。

立命館大学法科大学院（仮称）に望むこと

【尾崎】最後に、立命館大学法科大学院に対する期待や抱負を、それぞれの立場からお話し願います。

【水野】二〇〇四年春の開学を目指していただくことは大前提です。ロースクールにもいわゆる官僚養成的な色合いのところと、在野法曹養成的なところが出てくる可能性があります。やはり立命館には、在野で人権擁護に携わり、いろいろな局面で活躍できるような法曹を育てるロースクールをつくっていただきたいですね。

【福井】立命館大学のロースクール構想では、「二一世紀地球市民法曹の養成」という理念を掲げておいでのようです。これはスケールが非常に大きくて頼もしいのですが、逆に、具体的にどんな

法曹を生み出したいのかが見えにくい気がしますので、もう少し絞りをかけて検討していただくことを期待します。それから、ロースクールでは教員の三分の一程度が実務家でなければならないと言われていますが、これを機に、大学の先生方と我々実務家との間で積極的に交流していくようにお互い努力することが必要だと思っています。いろいろな場面が考えられますが、例えば裁判での尋問技術の向上のためなどに大学の先生の知恵を借りたり、逆に我々の経験がお役に立つこともあろうかと思っています。

【市川】意見をありがとうございます。先程の「二一世紀地球市民法曹」についてですが、私たちは、まさに国際的に活躍できる法曹はもちろんのこと、常に全地球的視野を持ちながら眼前の問題解決にあたることのできる法曹を生み出したという気持ちからこの言葉を用いています。その中で、各人の得意分野と申しますか、専門性を高めてもらえるようなプログラムを用意しようかと検討中です。立命館大学では、法科大学院の二〇〇四年四月開学を見据えて、連続シンポジウム「二一世紀の法曹養成」を開催しており、あるべきロースクール像についての見解表明や学外の皆様との意見交換を行ってきました。そして理論のみならず実践・実務も重視し、時代のニーズに応じた先端的な法分野、あるいはいくつかの法分野の複合といったことにも十分に対応できるよう、カリキュラムや教育の手法についても具体化を進め、既に模擬授業等も始めています。立命館大学の二〇〇〇年の伝統を受け継ぎつつ、進取の精神に富んだ特色あふれるロースクールをぜひともつくりあげたいと思います。

【尾崎】二〇〇四年には素晴らしいロースクールが発足するよう期待しております。どうもありがとうございます。



踊り、踊らせ、踊られ [2]

滝口潤子

ハワイアンフラインストラクター '81文

二〇〇一年一〇月末に第二回の関関同立交歓会が松山ワシントンホテルにて開催されました。参加人数は各校二十数名。全体で一〇〇名足らずの会合の熱気は、しかし、人数以上の迫力でした。今年大学卒業したばかりの若々しい子から人生卒業してもおかしくない年令なのに元氣溢れる若々しい老人まで、それはそれは大盛り上がり！

各校の紹介コーナーではそれぞれの大学出席者全員がステージに上がり、校歌や応援歌を歌います。三番目の同志社OBによる、かつて立同戦前夜祭などで聞いた覚えのある応援団の口上とそれに続く英語（英語ですよ！）の校歌を聞くうちに闘争心が：マチガエタ、愛校心がメラメラと燃え上がり、最後トリで登場の我等が立命館エヒメ校友は、メンネルコール出身のOB指揮のもと♪グレ〜タ〜立命い〜ぐれえたあ〜つ〜と、力の限り叫びましたよ。思い知ったか、立命のパワーを！と言わんばかりに。アトラクションはワタクシのハワイアンフラで、本来なら中立の立場で踊るべきですがココロは立命バンザイのアロハを込めて踊りました！

その時の様子は、RitsueひめHP <http://www.aqr.e-caly.ne.jp/ehm-ritsu/>で御覧になって下さい。

そう、念願のホームページが出来たのです。広報部長さんが中心となり開設したHPは手前味噌ですがなかなか充実していますよ。愛媛県校友会は県下八支部に分かれており、実務を担当している事務局には、その広報部と財務部そして私が部長の企画部があります。

普通、何かの会合に出ようと決める要素は何でしょうか？①仕事上必要或いはプラスになる会。②知的好奇心を満たしてくれる会。③面白くて大笑いする会。④運命の出会いの有りそうな会。⑤心と

めて癒されるような温かい会。元々楽しい事に目がない私は、なんとなくつまらなそうだと勝手に決めつけて校友会には出席したことがありませんでした。だって会の名前に漢字ばかり並んで固そうなイメージだったから。それでも四年ほど前に悲しい事が重なり五番目を期待して初めて出席。結果は大正解でした。年令性別を超えて「仲間」という迎え方をして下さった校友会活動の先輩達のおかげで元氣を随分もらいました（仕事ももらったけど!）。

この幸福を多くの人にも伝えるべく事務局メンバーとなつてからは積極的に①⑤の要素強化に努めています。校友会の「食わず嫌い」をなくしたい！企画部としてはクイズを用意したりアトラクションに力を入れています。校友の趣味特技を教えてもらって総会懇親会などで発表してもらい一つあります。意外な人に意外な隠し芸があります。本人さえも気付いてない場合もあるので周りからの情報も広く募集しています。

これまで披露してもらったものは、叙情歌、ギター、詩吟、合気道、演歌、指揮、応援団のエイル?。隠し芸ではなく本業としては私の踊りもそうですが、司会、落語（これは落研の先輩桂小春団治さんに来ていただきました）、講演、etc. つい昨日もHPのおかげでジャズバンドを趣味というより友人裸足でされてる校友を発見。次の会はコレだな、ムフフと思ってるところです。いつかは全国にその輪が広がり各県各支部の交流ができないかしらん?。思ったりする始末です。芸の交流、本部でもって登録制にでもしてもらって立命OBの隠し芸が全国を移動しあう!。

愛媛県校友会では他にもへえ?そんなことも!?てな様々な活動をしています。続きはRitsueひめHPでね。

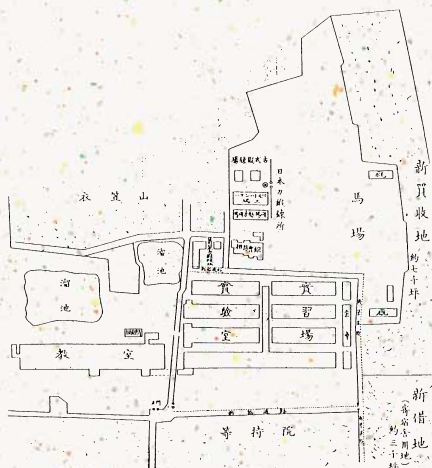
校友会は元氣の源、いろんなことがあるでしょうけど、ココにすれば、皆笑顔

12 衣笠球場

すっかりリニューアルされて芝生の緑も爽やかな衣笠キャンパスだが、嘗てここに球場があったことを知らない世代が増えてきた。そこで今回は「衣笠球場」について少し触れてみたい。

もともと衣笠キャンパス辺りは今の「きぬかけの路」はなく等持院の北は衣笠山の裾がのびている松林だった。そこに一九三九年、理工学部の前身である立命館日清高等工学校がつくられ、ここの実験室の北には馬術講習所等もできた(図)。この馬場の一部と周りの松林を開墾し球場の造成を始めたのは、戦後一九四六年のことである。日清高工は立命館専門工学校工学科となっていた。

現在の正門方向がホームベース方向で、一塁側の北面とライト方向西面は斜面を利用し、三塁側の東面とレフト方向の南面には土手を築いた。内野には木造のスタンドを設け、球場全体を板塀で囲んだ。この開墾では、広小路で学んでいた学生たちもやってきて勤労奉仕を行った。松を切り、その根を抜くのだが(写真1)、大変な作業であった。ある日、進駐軍のブルドーザーがやってき



図：日清高等工学校（1941年頃）

て、五〇人程で三日はかかっていたところをほぼ半日で片付けてしまいい、初めて見るそのパワーに驚かされたというエピソードもあった。こうして衣笠球場は一九四八年九月に

広報委員 佐野 哲夫 (82経済)

写真2：衣笠キャンパス（1962年頃）



完成した。

この衣笠球場は硬式野球部や準硬式野球部の練習や試合に使用されただけではなかった。一般開放も視野に入れて造られた立派なものだったため、高校生や社会人もここで試合を行い、また、京都新聞社との間で同社主催のプロ野球公式戦に使用する旨の契約が結ばれ、四九年には「大陽京都ロビンス」のフランチャイズ球場として市民の娯楽の場となった。ちなみにロビンスは、二リーグ制初年度の翌年には京都を離れ松竹ロビンスと改名、セ・リーグ初代チャンピオンとなった。衣笠球場も五一年一月には学内専用とされた。



写真1：衣笠球場造成工事

一九六七年、終野に新しい野球場が完成すると衣笠球場は「中央グラウンド」と呼ばれるようになり、キャンパス整備が進むにつれて削られていった。六八年から六九年にかけての第一体育館建設工事によって、ついに姿を消したのである。

〔取材協力〕岩橋清氏 太田克彦氏 加納三郎氏

節約の工夫も また楽し

下宿生生活事情

NEWS立命通信社

文・市原佳奈（産社3年）

NEWS立命通信社は、UNN関西学生報道連盟に加盟する報道サークルです。<http://www.unn-news.com/news-ritsumeij/>

全国各地から学生が集まる立命館全体の六割以上が下宿生である。

一言に「下宿生」といっても部屋の広さや家賃などは人それぞれ。間借り、風呂なしトイレ付き、ユニットバス・トイレセパレート…家賃も二万円台後半から六、七万円台までと幅がある。仕送りは男子の平均が一〇万円前後、女子が一三万円前後であるが仕送りを一切もらわず、奨学金とバイト代だけで生活している学生も少なくない。皆それぞれの仕送りや価値観に合った部屋を選んで生活している。

初めは、慣れない一人暮らしに加えて、友達ができるまでは寂しさが伴う下宿生活であるが、基礎演習や語学のクラスの友達が集う場として、大いに活躍するのまた「下宿」である。誕生会や鍋パーティーができるのも下宿生の醍醐味。

限られた費用でいかに有意義な下宿生活を送るか、このことが下宿生活における創意工夫のみせどころである。ここでは、食費を例にみていきたい。下宿生アンケートで「節約の工夫をしている生活費」堂々第一位が食費である。大学や周辺の食堂では、安価で

栄養価の高い食事にありつけるものの、一度下宿に帰ってしまえば、コンビニなどの弁当や惣菜は意外と高つく。食費を節約するために自炊を始める下宿生たち。料理のレパートリーも節約の術も回生を重ねることに増えていく。

栄養バランスを考えると、野菜は摂取したい。けれど一度にたくさん買い込んでしまうと、腐らせてしまうこともしばしば。そんな時は下宿製冷凍野菜。ほうれん草やブロッコリーなど、固めにゆでて冷凍庫へ。市販の冷凍品を購入するよりも安価で大量生産できる。さらに百円ショップの活用。缶詰や乾物などはスーパーよりも安い。スパゲティソースの缶詰は通常二、三人前。達人たちは余ったソースをコンソメスープの中に入れ、マカロニ程の長さにつぶ切りにしたスパゲティもゆでる際に同時に用意しておき、スープの具として投入。あつという間に翌日のおかずも完成させてしまう。また、平日半額のハンバーガーを大量に買って、外側と中身を分解して冷凍保存し、ハンバーグをチャーハンやオムレツ



ツの具に使うという恐るべき下宿生までいて、節約は日々進化を遂げている。

普段から友達同士集まって共同自炊をしている学生も多い。お金に困ったら、互いに食材を持ち寄って、創作料理の開始である。限られた食材からいかに豪華な料理を生み出すか、下宿生も三人寄れば、である。安売り店の情報交換や節約技の共有をしながら、日々友情と助け合いの精神を育んでいる。下宿生が口々に言うことは「一緒に住んでいた時には気づかなかった、親のありがたさ」や「自由であるがゆえの責任感」に気づくということ。すべてが自己管理に委ねられる下宿生活は、家庭に守られていた高校時代までとは違う。生活費を補うためのアルバイトや、大家さんや近所の人々との交流を通して、下宿したからこそ触られる社会もある。地域の一住人としての実感も少しずつではあるが湧いてくる。

下宿生活で培った知恵と社会性は大学卒業後に実社会で試されることになる。それまで、親をはじめ、たくさんの人々に支えられて下宿生活を送れることに感謝したい。



2001年度全国校友大会 約1,100人の参加で大きく成功!



11月10日(土)、京都、蹴上の都ホテル「瑞穂の間」で、2001年度全国校友大会が開催された。久しぶりの京都での開催とあってか、荻野忠雄バンクーバー支部長・文鶴東在韓立命館大学同門会会長など海外支部の代表を含め、国内外から1,100名という多数の校友が遠路はるばる参加した。当日はこれに先立ち、立命館大学校友会全国都道府県会長懇談会・拡大常任幹事会も同ホテルで開催された。

大会は、桂小春団治・村上順子両氏の息の合った司会のもと、アカペラサークルClefによる校歌斉唱、河原四郎校友会長の開会挨拶を行い、続いて長田豊臣立命館総長からご祝辞を頂いた。このあと高木茂太市校友会副会長を議長として総会議事を進行。議事終了後、宴は応援団各部の勢いあふれる演舞・演奏で華やかに幕を開け、川本八郎立命館理事長のご発声で高らかに乾杯、懇親会に入った。

懇親会では、前掲のClef・軽音楽部・和太鼓ドン・競技ダンス部が次々と舞台上がり、キビキビした所作と力量の高い演奏・演舞を披露した。参加者一同、後輩である現役学生の立派な姿に見入り、称賛の声を上げた。また、産業社会学部に入学した歌手の倉木麻衣さんの「皆さんの後輩として、勉強と音楽活動を両立させ、頑張っていきますのでよろしく応援してください」というメッセージビデオも上映された。なお、今年初めての試みとして、校友大会の様子をインターネットで同時中継した。

新世紀によりふさわしい校友会づくりへ向けて、互いの活躍と母校および後輩への援助の決意を新たに、甲賀光秀専務理事の音頭で万歳三唱し、校友大会はお開きとなった。

● 校友会2000年度決算・2001年度予算

＜収入の部＞

科 目	2000年決算額	2001年予算額
前年度繰越金	29,622,958	9,500,961
会費収入計	219,220,000	214,500,000
資産運用収入計	1,055,457	1,450,000
大会収入計	27,300	10,550,000
寄付金収入計	2,290,869	0
その他収入計	6,511,480	6,200,000
合 計	258,728,064	242,200,961

＜支出の部＞

科 目	2000年決算額	2001年予算額
人件費支出計	16,327,974	16,600,000
一般経費支出計	43,345,845	45,200,000
組織強化費支出計	26,550,566	30,500,000
事業費支出計	88,502,718	61,300,000
特別会計繰出計	74,500,000	84,500,000
予備費	0	4,100,961
翌年度繰越金	9,500,961	
合 計	258,728,064	242,200,961



KINTARO SKI

金太郎スキー同好会OB会



○一月三日(土)、京都全百空ホテルにおいて、「立命館大学金太郎スキー同好会創部三〇周年記念式典」が開催された。当クラブは三〇年前、柴田晃〇B会名誉会長のクラス仲間が中心となって設立し、以後関西基礎スキー連合の中心的存在を担ってきた伝統あるクラブで、全国からOB・OG、現役部員、来賓、合わせて二〇名が集った。

式典は、田口京弥会長による開会の挨拶、廣近直樹立命館大学教育研究事業部長の祝辞及び大学・校友会の近況報告と続き、さらに柴田名誉会長からは、三〇年間の思い出や現役への激励を交えた挨拶が述べられた。

祝賀会は、鏡割りの後、切久保豊氏(創部以来宿先として毎年お世話になっている長野県白馬村岩岳、切久保館の主人)の乾杯発声を台詞に始まり、数々の余興が催され、大いに親睦が深められた。

なお三〇周年を記念して、OB会より現役部員に、新しい部旗とビデオカメラを贈呈した。最後に参加者全員で応援歌、校歌を斉唱した後、現役主将からの謝辞があり、三本締めで中締めとなった。夕方からは会場を懐かしの以学館食堂に移して二次会を開催した。大先輩方の飲みっぷりは相変わらずだった。部員数の減少等諸問題を抱えてはいるが、現役あつてのOBであり、今後とも現役のクラブ運営に役立つようOB会活動を行なっていきたい。

「94経済 両頭慎一・記

SAITAMA

埼玉県校友会

県下に約二千三百名の多士済々の校友を持つ埼玉県校友会の総会は、九月九日(日)、埼玉新都心近くのホテルアルサ清水園で行われた。出席は七〇名。活動・会計・監査報告の後、新役員に会長〓西垣義明、副会長〓嵯峨巖、太田代志朗、永倉素子、鈴木昌治、幹事長〓河本好令、副幹事長〓今川博文、監事〓杉岡悦夫、山本雅信の人事を満場一致で決定。新体制のスタートとなった。

「親睦と融和で、楽しい校友会にしてゆきたいです」

西垣会長の爽やかな挨拶に拍手喝采。本部からは阿曾沼一成総長担当秘書部長、志垣陽校友課長を迎え、躍進する大学の現状と展望が報告されると一同熱く胸躍らせて聞き入った。また、来賓に東京・神奈川・千葉・茨城・栃木・宮城県各校友会をはじめ、空手道部関東OB会、東京ESPの面々を迎えた晴れの記念撮影。華やかな会場での懇親会は、早々に歓談の輪が幾重にも広がり、しだいに盛り上がりつつあった。

合唱団の演奏やウィグル族の舞い、それにビンゴゲームと多彩なプログラム。フィナーレは、茨城県校友会の木山秀一氏(元応援団長)のパワフルな指揮による校歌、応援歌、寮歌の大合唱。赤き血潮、はいやがうえにも最高潮に達し、交流の喜びのドラマを感動的に飾った。

埼玉県校友会は清新の体制で、新年会、ハイキング、史跡探訪、ゴルフ会、各種研究会、忘年会が活発に行われ、機関紙「埼玉立命」も情報満載。温かい相互のネットワークは、年々、充実してきている。

第12回立命館大学埼玉県校友会 懇親会



「62法 河本好令・記

KEISHO

立命館慶祥高等学校同窓会

九月一日(水)、札幌ランドホテルにおいて、「二〇〇一年度立命館慶祥高等学校同窓会交流パーティー」が、地元北海道から南は沖縄まで二四〇名の出席を得て盛大に開催された。

学園からは西脇中等教育担当常務理事、校友会から志垣事務局長も参加。ジャズピアノとオルガンによるBGMに、数十年前に再会する恩師も交えて、会場のあちこちで歓声と記念写真のシャッターの音が絶えない賑やかな交歓会となりました。

立命館慶祥高等学校同窓会は、六十余年の歴史を持ち、全国各地に金融関係を中心に有為の人材を輩出しています。一昨年の高校キャンパスでのジギスキャンパーティー、昨年の学園創立百周年を記念しての北海道校友会・同校教育振興会と共催の交流パーティーと年々交流の輪を広げてきており、今年の交流パーティーには、沖縄、愛知、神奈川など全国からの参加者、また、ほとんどの卒業年次を網羅する参加者を



得るなど、同窓会の一層の活性化を表すものとなりました。

北海道における立命館学園のネットワークの要として、これからのますますの発展と、若い同窓生も巻き込む新しい同窓会づくりが期待されています。

「立命館慶祥高等学校同窓会事務局・記

KEYION 軽音楽部OB会

軽音楽部OB会は永年活動休止状態が続いていましたが、近年会員の強い要望で再び活動を開始しました。九月一日(土)三時より、SUPER SESSION 201 in KYOTOを銘打ち、一九四七年卒から現役まで半世紀を超える世代が集うOB会が京都タワーホテルで開催されました。参加者はOB・OG、その家族と現役を含め二〇〇名。まず初めに記念撮影を済ませ、立命館大学放送局の現役女子アナウンサーの司会のもと、事務局の挨拶、志垣校友課長からの祝辞の後、乾杯で開宴しました。卒業後、ほとんどのOBは音楽活動から離れていきますが、仕事の傍ら、引き続きバンド単位や個人的に各地で活動したり、四〇代・五〇代に入って昔の仲間とバンドを再開したものもいます。もちろんプロのミュージシャンを目指しているものもいます。

昭和三〇年から現役で活動していたTennessee Shanty Boys、四〇・五〇年代のメンバーで当日結成したSunny Mountain Boys、昭和四〇年代の懐かしのロックMedium Rokin Sounds、四年前結成した四〇年代中心のフルバンドOld RUSH等の演奏があり、中程で、KBS京都アナウンサー飛鳥井雅和氏(立命館大学放送局OB)が学生時代の軽音楽部とのエピソードを披露。そして現役学生のロックバンドBossanova Dogのパワフルな演奏。最後に、同じく現役のフルバンドRUSVingit Hard Jazz Ensemble 2001の素晴らしい演奏でOB一同元気をもらい、予定をオーバーして一七時三〇分に閉会しました。

「69 経営 榎井正秋・記」



ISHIKAWA 石川県校友会

石川県校友会総会は、一〇月六日(土)、金沢ニューグランドホテルで開かれた。二二世紀最初の記念大会と位置付け、今年は特に校友で俳優の長門裕之氏を招いての記念講演があった。参加者は来賓、校友合わせて二〇〇人。女性校友八人も参加して会を盛り上げた。

総会は加納裕会長の挨拶、児玉弘毅幹事長からの活動報告などがあり、この後、長門氏の「俳優60年」と題する講演があった。講演は吉手という長門氏は「私は二回生の時、立命を中退した。にも拘わらず校友会に入っていたのでともうれしい」と話し、役者として走り続けた六〇年を振り返って「無法松の一生」など出演映画の思い出、芸能界の裏話などをユーモアたっぷりに話した。長門氏はこの後開いた懇親会にも参加され、校友に囲まれて記念写真撮影など交流の輪を広げた。

懇親会では、来賓の井上純一立命館常務理事の祝辞「大学の現況報告」があり、永多外男榎井県校友会長、乾杯の音頭で和気あいあいの中にパーティーを開き、最後に坪井新一郎富山県校友会長の万歳三唱で会を閉めた。

「61 法 児玉弘毅・記」



AICHI 愛知県校友会

愛知県校友会会は、去る一〇月二八日(日)、愛知県芸術劇場大ホール、名古屋クレストンホテルの二会場において、総会を開催致しました。本年度は、総会の第一部を「RITSUMEI SUNDAY TALK & CONCERT」と銘打ち、一般のお客様もお招きしてのコンサートと講演会を行いました。

二千名を超える校友、観客が参加され、大ホールがほぼ満席となる盛況振りでした。また、学園から長田豊臣総長、岡泰造理事(校友会本部副会長)、志垣陽



校友課長にもご臨席頂きました。午後一時からのコンサートは、照喜名一男先生の指揮のもと、立命館大学交響楽団の演奏が始まり、伍芳(ウー・ファン)さんの中国古箏、石原千蔵さんの「日本の歌」独唱とすばらしい演奏が披露されました。講演会では、家田荘子さんが「歩んだ道、出逢った人々」と題した講演をされ、会場全体が深い感銘を受けた様子でした。

会場を移した総会の部には、約四〇〇名の校友が出席し、長田総長をはじめとする来賓の方々からご祝辞を頂いた後、議案は全て承認されました。懇親会には、伍芳さんも参加され、校友は楽しい歓談のひと時を過ごしました。

「文化的な貢献を通して地域との交流を図る」という初めての試みでしたが、二二世紀の幕開けにふさわしい記念すべき総会となりましたことを報告致します。

「愛知県校友会事務局・記」

NEW!! クレオテックのホームページができました!!

校友の皆様には平素から格別なご支援を賜りありがとうございます。お蔭を持ちまして弊社の業績も順調に推移し、立命館学園に対してもそれなりの貢献が出来るようになってきたのではないかと考えております。学校法人立命館は、昨年学園創立100周年・学園創始130年という節目を、立命館アジア太平洋大学の開校を始め大きな事業を成功させるなかで経過し、今、教育や研究における改革者として更に大きな飛躍を遂げようとしています。

クレオテックは、立命館学園の教育・研究を側面から支援し、学園の発展に寄与する会社として歩んできましたが、現状に止まらず更に大きく成長したいと願っております。また、その広がりの中で校友のみならずとも今までとは少し違った形でのおつき合い・交流が出来るものとしていきたいと思っております。

以上のような考えから、弊社クレオテックもこの度ホームページを開設するはこびとなりました。当初は、クレオテックや立命館の情報を提供するだけのものになっていますが、今後、更に検討を加え、立命館ファミリーモール（仮称）の開設も視野に入れた検討を開始しています。この計画では、校友の皆様がオーナーになっている会社や自営業の皆様をリンクし、インターネット上の立命館商店街を形成しようとするものです。全国各地でご活躍の皆様の営業を一堂に紹介・宣伝し、通信による販売に繋げていけたらと考えています。また全国各地で名産品を作っておられる方や、飲食店を経営されておられる方々を紹介し、校友相互の親睦を深める場としてご活用頂けるものにしていきたいと願っています。

現在、ファミリーモールの編成や運営の検討を進めていますが、他にはない立命館ファミリーモールの特徴を持たせたものにしたいと思っておりますので、是非ともみなさま方のご意見やご知恵を頂戴したいと存じます。またホームページのみならず弊社に対するご意見等についてもお寄せいただければ幸いです。



●トップページ

●TOPICS
NEWSやWHAT'S new
などの日常的な催しや
事業展開の状況などの
紹介●会社概要
会社の目的や組織・連絡先・MAPなどの紹介

今後はさらに機能を高め、事業面での活用を含め、より充実した内容にしていきたいと思います。

●本社ビル案内
各事業部やショップ・喫茶などの紹介

アドレス… <http://www.creotech.co.jp>

「気功・太極拳教室」二期募集のお知らせ。

弊社では校友の柴田宏さん（S38年経済卒）にご協力いただき安価にて「クレオ気功・太極拳教室」を開催いたしております。中国四千年の完成された健康法である「気功・太極拳」はどなたでも簡単に覚えらるる体操として中高年層にも静かなブームとなっています。

朝のひととき、校友の皆様を中心とした相互の交流を深めつつ心地よい汗を流しませんか？

記

教室開講日：2002年1月19日（土）より

日 程：1月19・26、2月2・9・16・23、
3月2・9・16・23日 全10回（予定）

時 間：午前10時30分～1時間程度

場 所：弊社3階会議室（京都市北区平野上八丁柳町28）

会 費：5,250円（税込）

定 員：10名程度（先着順で締め切ります）

「ペン習字・書道教室」二期募集のお知らせ。

忙しい毎日を送るひととき、心を落ち着けて書に向かい合ってみませんか？ ペン習字・書道どちらも好きなほうを選んでいただけます。少人数クラスなので自分の好きな題材を選ぶことも出来ます。



記

教室開講日：2002年1月16日（水）より

日 程：1月16・23・30、2月6・13・20、
3月6・13・20日の水曜日 全9回（予定）

時 間：午後6時～8時

講 師：島木静山先生（日本教育書道連盟公認 島木書道会会長）

場 所：弊社4階402教室（京都市北区平野上八丁柳町28）

会 費：16,800円（税込）

定 員：若干名（先着順で締め切ります）

*申込締切日時は2002年1月10日の午後5時です。お早めに！

お申込・お問い合わせは、
下記「立命館ファミリーカード」係まで

優待店 立命館ファミリーカード
お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353

京都市北区平野上八丁柳町28

（株）クレオテック

「立命館ファミリーカード」係

TEL. 075 (463) 9197

FAX. 075 (465) 5697

※ 立命館ファミリーカード会員の方は、割引の特典がございます。

[立命館オリジナルグッズ] 通 信 販 売

大学変革 哲学と実践 立命館のダイナミズム 中村 清[著]



- 最先端をいく立命館大学の改革を徹底取材したドキュメンタリー
- OB・OGへ「進化する母校の姿を知っているか」
- 教育関係者の参考図書として 定価1,500円(税別)

ついに立命館の改革に焦点をあてた本が出版した。ダイナミックな改革のスピードは卒業生の方が驚くほど速いものです。ぜひ立命館の「いま」を知るためにこの機会にお買い求めくださいますようお願い申し上げます。

立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥1,250 (税別)	¥1,350 (税別)

仕様：四六判 頁数336頁 発行：日経事業出版社

推薦図書

- 「追想 末川博」 特別価格 1,400円 (送料込み)
 「立命館百年史」第一巻通史編 特別価格 5,000円 (別に送料650円)
 「立命館百年史」第一巻資料編 特別価格 11,000円 (別に送料650円)

※推薦図書は特別価格(いずれも税込)での販売につき、立命館ファミリーカード会員割引はありません。

ゴルフボール 立命館アジア太平洋大学開学記念ロゴ入り



- ダンロップ社製 DDHツアースペシャル
- 1ダース (12個)

立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥3,600 (税別)	¥3,900 (税別)
¥1,800 (税別)	¥2,000 (税別)

※10ダース以上お買い上げの場合は、送料をサービスさせていただきます。



新製品のお知らせ 北山杉工芸品 「立命館名入り置き時計」

立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥5,800 (税別)	¥6,300 (税別)

本体寸法 たて14cm×よこ16cm×奥行5.5cm 直径 10cm (時計部分) *重さ 380g
 台 *寸法 たて13cm×よこ25cm×高さ2.5cm *重さ 250g
 材質…本体(時計の枠)・台/北山杉 時計…APS樹脂(日本製)
 *天然木利用の為、寸法・色など若干異なる場合があります。

「セラミックボールペン」

ペン先のセラミックボールがスムーズな書き味を実現。高級感あふれる金属ボディに立命館マークをあしらいました。太、細の2種類からお選びいただけます。



立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥1,400 (税別)	¥1,600 (税別)
立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥800 (税別)	¥950 (税別)

サイズ：(太) 全長141mm 直径φ13mm (細) 全長138mm 直径φ10mm

クレオテック直営ショップ

La Liberté に

Sports Station 誕生!!

「学園のスポーツ活動を支えてきた実績を生かし、スポーツ文化を社会全域に広めていきたい」この大きな願いのもと、2001年11月10日クレオテック本社ビル1Fに「Sports Station」をオープンしました。

立命館学園に学びスポーツの分野で活躍している生徒・学生へより良質かつ廉価な用品・用具を提供し支援することはもちろん、クレオテックが培ってきた多くの実績と確かな信頼を基盤に、各種事業ネットワークを通じて学園の枠を越えたフィールドに拡大し、スポーツ人口の増加・活性化、スポーツ文化の育成にも寄与していきたいと考えています。



ショップは限られたスペースのため、野球・テニス・バドミントンなどの用品・用具を中心に展開していますが、特殊商品を除いてほぼすべてのジャンルのスポーツ用品・用具の取扱いが可能です。外販活動および通信販売での対応も積極的に行っていますので、校友の皆様におかれましてもスポーツに関する情報、スポーツに関わっている方、またクラブ・団体の紹介などもいただけましたら幸いです。

各種行事記念オリジナルTシャツ、スタッフジャンパー、記念品なども扱っていますのでお気軽にお問い合わせ・ご相談願います。

メンバー会員募集中!

(入会費500円、更新料300円)
 メンバー会員に入会されると特別割引、各種セールのご案内など多数の特典があります。

[立命館オリジナルグッズ] 通 信 販 売 お申し込みのご案内

お申し込み方法 ハガキまたはファックスに、住所、氏名(フリガナ)、年齢、電話番号、立命館ファミリーカード会員番号、カード有効期限、商品名、数量、金額、お届け先をご記入のうえお申し込みください。

お支払い方法について 立命館ファミリーカード会員の皆様は、カード払いがご利用いただけます。※お申し込み時に必ず明記してください。

一般の皆様は、商品到着後「郵便払込み」にてお支払いください。

お届けについて 商品は、当社がお申し込みを受け付けてから約2週間でお届けいたします。

送料について ご注文文に1ヶ所のお届け先につき、送料を申し受けます。

通 信 販 売
 お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28 (株)クレオテック「ショップリベルテ」 TEL. 075 (463) 9740
 FAX. 075 (465) 5697

学生のキャリア形成・進路・就職

— 健闘する後輩にあたたかいご支援を —

厳しい経済環境のもとでも就職活動において立命館大学生が健闘しています。
またすでにAPU（立命館アジア太平洋大学）でも進路就職支援が始まっています。
サポートを担当するキャリアセンターとAPUキャリア・オフィスの取り組みをご紹介します。

二〇〇一年の採用戦線で顕著な傾向は、女子学生の健闘です。過去数年間、女子学生が健闘した結果、女子総合職への採用などにより新しい分野への社会進出が徐々に増加する傾向にありましたが、今年は、その流れがいよいよ花開いた感があります。はじめて総合商社への女子総合職を輩出できたのを皮切りに、女子総合職の実績がなかった大手都市銀行での採用、大手広告代理店の女子総合職、外資系企業など、好実績を残しています。このことは、後に続く後輩女子学生への大きな励みになり、「自分自身の学生時代の努力次第では、どのような進路も選択可能」というふうに感じることができるようになりました。このようすばらしい実績は、すでに実社会において全国各地で活躍する先輩校友の皆様の日々の奮闘が、母校・立命館大学生への評価に大きくフィードバックされている結果であることは間違いありません。

また、就職活動中の学生への支援に際しても、非常に多くの校友の力をお借りしています。現在、キャリアセンターが実施しています進路・就職支援企画は、校友の皆様

女子学生の健闘と それを支える様々な 支援プログラム

— 二〇〇一年の就職戦線の特徴 —

立命館大学 *Ritsumeikan University*
インターンシップ、キャリアアドバイザーの支援で
新たな分野へも積極的に進出

協力によって成り立っているものが数多くあります。特に「CAA（キャリアアドバイザー）（若手OB/OG）」（現在約二〇〇名）には、非常に多くの局面で、就職活動準備時期の三回生に対し指導、助言をいただいております。こうしたコミュニケーションのなかで学生が鍛えられ、実社会の勉強をさせていただき、それが進路を決めるきっかけとなった学生も非常に多く存在します。このようにCAAとの懇談による学生の成長は計り知れないものがあります。

二〇〇一年の就職戦線は、前年と比しても約三週間の早期化となりました。学生自身の将来への志望が固まる前に採用活動が本格化し、早期の内定が始まるという状況になりました。

もうひとつの大きな特徴は、新卒採用の過半数をインターンシップから採用するという大手企業が現れ、新聞などでも大きく報道されたことです。従来、外資系企業を中心に、春休みを利用して行われる各社のスプリングインターンシップからの採用が行われてきたことがありますが、日本の新卒採用戦線に大きな影響力を持つ企業が、インターンシップからの採用を本格化させたことは、年々早期化している新卒採用戦線を大きく変化させ、日本の新卒採用手法を大きく変える可能性を秘めているものと考えています。

II インターンシップ

キャリアセンターには、一九九九年「インターンシップオフィス」を設置しました。インターンシップに関するあらゆる情報の提供、インターンシップ先の開拓、インターンシップに関する啓蒙活動等を行っており、多くの学生が利用しています。

近年、インターンシップに対するニーズは非常に高く、在学中に数回のインターンシップに行く学生もめざらしくありません。今年度、インターンシップオフィスを経由してインターンシップに行った学生は、約四〇〇社・団体、七〇〇名以上になると予想しています。

しかし、まだまだ、学生のニーズには応えきれておらず、インターンシップオフィスではスタッフが企業開拓業務に日々邁進している現状であります。

インターンシップを経験した学生は、「大学で学問をする重要性」に

気付くとともに、「働く厳しさ」を実感し、「職業観の育成」にもつながっていきます。自分自身の大学での学習の方向性、卒業後の進路選択への方向付け、あるいは、専攻分野の学問へフィードバックし、単位認定に結び付いているケースも見受けられます。加えて、採用に直結しているケースも増加の傾向にあります。

インターンシップは決して「万能」というわけではありませんが、進路を考えるうえで大きな意味をもちます。キャリアセンターは、志望する学生に対して、インターンシップ先をさらに拡充し、あらゆる業界・職種を網羅できるよう「ラインナップ」を整備していくことにしています。

キャリアセンターでは、旧就職部時代からの就職支援業務に加え、キャリアセンターに改組（一九九九年）後は、入学当初から進路を念頭におきつつ充実した学生生活を送ることの重要性に気付かせるサポートを実施しており、その重要な柱の一つとして「インターンシップ」を位置づ

けております。

学生の進路・就職の支援は、校友の支援なしには成立しないものばかりです。今後ともあたたいご支援をいただきますようお願いいたします。

立命館大学生への
「ご求人のご案内について」

校友の皆様で、いわゆる人事・採用業務に携わっておられる方は、是非、キャリアセンターをご活用ください。

立命館大学では、近畿圏はもとより、首都圏を含む全国各地出身の学生が、京都・滋賀の地で学んでおります。従って、日本全国の地域から求人がありましても対象学生が存在し、また、キャリアセンターにおきましては、情報を個別に提供できる体制を整えております。時期的にも、春の一括採用時期から、通年的に対応できます。

求人等に関するお問い合わせは、キャリアセンター 衣笠・村上
TEL・075・465・8172
まで、ご一報ください。

立命館アジア太平洋大学
Ritsumeikan Asia Pacific University

高い学習意欲を生かし、早い時期からキャリア開発

I APUのキャリア支援

長引く経済不況の中にありながら、新卒者の採用は全体的にやや上向きの傾向にあると言われている。しかし、欧米経済の先行き不透明

明な状況は、間接的に日本の大手企業や海外進出企業の採用手控えにつながり、来年以降の就職見通しも依然として厳しい状況が続くと予想されます。二〇〇〇年開学でまだ二回生までしかないAPUでも、この現実を真摯に受け止め、学生たちに高度なキャリア支援を提供すべく

様々な検討を重ねています。具体的には「APUキャリア・デベロップメント・プログラム（APUにおける進路就職支援基本計画）」を開学と同時にスタートさせました。APUでは、キャリア開発（進路就職に向けての能力開発）をきわめて重視しており、その具体化として木目細



かなサポートシステムを誕生させました。入学から希望の進路実現まで、学生個々のステップに応じて充実したメニューを提供しています。これらを積極的に活用することで、将来の目標に大きく、そして確実に近づいてくれることを確信しています。

II APU学生の学び

「APU学生の特徴は？」とよく聞かれます。「とにかく、よく勉強しています」と答えていますが、驚くのはその学習意欲の高さです。今の時点で総合的な学力評価をするには少し早いのかも知れませんが、学びに対する姿勢は「どの大学の学生にも負けていない」と自負しています。語学力の点でいえば、すべての学生を対象に実施しているプレスメントテストの平均点でも、入学時三九ポイントでしたが、半年後のTOEFL/ITPでは四四五ポイントまで伸びています。英語基準

で入学した国際学生では、入学時に日本語を全く理解できない状態だった学生も、半年程度で自由に会話を楽しめるようになっていきます。また、放課後の平均学習時間が国内学生で三時間、国際学生では五時間、授業出席率は八〇%、図書の利用

出冊数は二三・六冊/年にもなっています。

この学びへの食欲さは、学生自身の意欲に加えて、APUの教育システムに理由があります。全ての授業成績は、期末試験五〇%、授業内での中間課題等五〇%で総合評価され、日常的な学習の努力が求められるシステムになっています。また学習意欲の高さは、入学試験において志望理由書や学習計画書等が評価の対象になっていることや入学前教育などにその理由があると考えています。

III インターンシップでの大きな成果

「キャリア・デベロップメント・プログラム」の大きな柱であるインターンシップの実施は、東京・大阪・福岡を中心に本格的な展開を行っています。昨年は、約八〇名の学生を派遣し、事前・事後教育と合わせて単位認定も行いました。特に福岡エリアでのインターンシップ受け入れにあたっては、立命館大学校友の皆様にも大きな支援協力をいただき、目標を大幅に越える受入先を獲得することができました。

インターンシップの事例でみると、国際NGO団体「熱帯農林開発技術者協会」での実務研修は、現地フィリピンでの植林実態の研究や政府機関での実務研修など、国内では経験のできない貴重なプログラムとなりました。また、国内では「読売新聞東京本社」「RKB毎日放送」

「九州経済産業局」「ヤンマーディーゼル」などの難関マスコミ、行政機関、アジア進出企業など、様々なメニューを提供することができました。これらの実績を継続発展させるとともに、より多彩な受入先開拓を行い、APU学生たちの将来に貢献できればと考えております。

IV 先進的なエクステンション・センター機能

APUのエクステンション・センターでは、これまで、WebCTを導入したフリータイム学習システム（インスタラクタターの指導をフリータイムに受けられる）を実施しています。すでに一〇〇名を超える受講者があり、好評を得てきました。更に昨秋から学校法人大原学園との業務提携により先進的なプログラム運営システムを導入し、約二〇の多彩な講座を順次開講しています。これは、スタンダード講義、VOD（ビデオオンデマンド）講義、双方向会話システムを組み合わせることで、学習効果の高い授業を安価で提供可能にしたものです。地元貢献の視点から地域開放も行う予定であり、これからの大学エクステンション運営における新たなあり方になるといえます。

APU学生のキャリア形成・就職に関するお問い合わせは

APUキャリア・オフィス・北本
TEL: 0977-78-1128
へお願いします。

エクステンションセンターが 展開する学びの支援



■ エクステンションセンター講座一覧

衣笠キャンパス開講講座

司法講座
ビジネス通訳・翻訳講座
日本語教育講座
ビジネス法務講座
簿記講座

BKC開講講座

公認会計士講座
ファイナンシャルプランナー講座
弁理士講座
ソフトウェア開発技術者試験対策講座
MCP講座
CAD利用技術者試験対策講座

衣笠・BKC両キャンパス開講講座

公務員講座
マスコミ対策講座
不動産講座
旅行業講座
通関士講座
色彩検定講座
TOEIC講座
TOEFL講座
初級システムアドミニストレータ試験
対策講座
MOUS講座
秘書検定講座
就職対策講座

Q エクステンションセンターではどのような講座を開講しているのですか？

A エクステンションセンターでは、学生が正課で学びつつ、社会の高度化に対応できるプロフェッショナルとして成長できるよう、難関試験分野から各種資格・語学・情報・コンピュータ・就職・マスコミ対策・キャリアアップまで、意欲を持った学生をサポートする講座を開講しています。二〇〇一年度には衣笠・BKC両キャンパスそれぞれの特色をいかした三講座を開講しており（講座一覧参照、年間約一万三千人の学生が熱心に受講しています）。

Q 校友が、エクステンションセンターを利用することが出来ますか？

A できます。受講料も在学生と同額の安価な金額で受講していただくことができます。

Q 京都・滋賀に在住していないので学内で受講できない場合や、勤務の都合で講座開講日・時間に受講することができない場合はどうしたらいいのでしょうか？

A 難関試験分野に限ってですが、以下のような制度を設けています。是非ご利用ください。

校友特別受講制度

エクステンションセンターでは、卒業後、司法試験・公認会計士・国家公務員一種試験等、難関試験分野の合格をめざして学習を継続されているみなさまを対象に、専門機関の協力を得て、各地で講座を受けられる際にその受講料を一定額ですが割り引いて受講していただける制度を設けています。詳細については、左記問い合わせ先までご連絡下さい。

なお、現在の対象講座・提携機関は、司法試験／辰巳法律研究所 公認会計士試験／大原簿記学校 国家公務員一種試験・外交官試験／早稲田セミナーの本校および主要ネット校二部専門機関では通信教育も可です。

◆ 法曹を目指すみなさんへ

「司法制度改革審議会」の「最終意見書」によれば、現行の司法試験の受講生に対する配慮から、一定期間（新司法試験実施後五年間程度）は新制度と併行して、現行の司法試験制度を引き続き実施するとされています。したがって、今からしっかりと学習を進めて、二〇〇四年の法科大学院の設置さらには二〇〇五年の新司法試験の実施を待たずに、現行の司法試験に出足早くチャレンジして下さい。

エクステンションセンターでは九二年の開設以来、司法講座の実施をはじめ、法曹志望者のサポートを意欲的に展開する中で、確実に実績を伸ばしてきました。二〇〇〇年度からは法学部と連携しながら司法試験センターを設置し、サポートの強化を行っています。

◆ 公認会計士を目指すみなさんへ

エクステンションセンターでは、公認会計士試験の合格を目指す校友のみなさまを対象に、大原簿記専門学校との提携による、「校友割引（入学金免除 受講料一〇%割引）」を設けています。

また、次のステップである「上級コース」については各コース受講料二〇%割引にて受講していただけます。詳細はBKCエクステンションセンターに直接お問い合わせ下さい。

【お問い合わせ・お申し込み先】

● 衣笠キャンパス

衣笠エクステンションセンター（TEL）075-4651-8297

司法試験センター（TEL）075-4661-3443

● BKCキャンパス

BKCエクステンションセンター（TEL）077-561-2853

Campus Topics

キャンパス＊トピックス

SEPTEMBER, 2001—NOVEMBER, 2001

立命館創始一三〇年・学園創立二〇〇周年記念事業／新構
想大学院（仮称）設置準備企画「21世紀の潮流を創る」
連続講演会「21世紀における知の課題」開催

昨年度、創始
一三〇年・学園
創立二〇〇周年
の節目を迎えた
本学では、一〇
〇年の歴史に立
ち、あらためて
二一世紀の知は
いかにあるべき
かの検討を重ね
てきた。その内
容をふまえ、従



来の学問領域を横断するような問題設定によるプロジェクト研究を行う場として、新構想大学院（仮称）の設立を目指している。この大学院の設置理念に直結した内容の連続講演会が、衣笠キャンパス創思館カンファレンスルームにおいて行われた。

この連続講演会では、最前線で活躍中の研究者・制作者の方々から、どのような「知」が新たな時代を開く力を持ち得るか、またそれは二〇世紀の知とどう異なるかについての問題提起がなされた。

■第一回（九月二十八日）

「正義とケア―21世紀の社会倫理学の一課題―」

「講師 川本隆史東北大学大学院文学研究科教授
■第二回（二〇月二日）
「メディアの臨界・世界史の現場に立ち会え」
「講師 桜井均 NHKエグゼクティブプロデューサー」

■第三回（二〇月二〇日）

「ポストゲノム時代の倫理学―競争的環境の中で個性に輝くとは―」
「講師 樋野興夫（財）癌研究会・癌研究所実験病理部長」

■第四回（二〇月二七日）

「編集とデザインの過去・現在・未来」
「講師 鈴木一誌 ブックデザイナー」

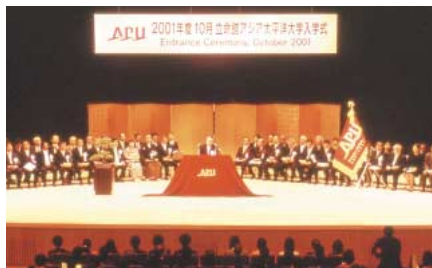
■第五回（二一月二日）

「未来からの視線―生命・自然―」
「講師 小泉義之 宇都宮大学教育学部教授」

二〇〇一年度一〇月 立命館アジア太平洋大学入学式を挙行

一〇月一日、二〇〇一年度一〇月立命館アジア太平洋大学の秋季入学式がミレニアムホールにて行われた。APUでは、春・秋・年二回の入学式を行っており、今回の入学者は五〇カ国・地域からの国際学生二五三名と国内学生二四名の合計二七名であった。これにより、APUの在校生は、国際学生が六四カ国・地域から九〇四名、国内学生が九八八名の合計一九〇二名となった。

入学式では、長田豊臣総長と坂本和一APU学長から挨拶があった。また、平松守彦大分県知事（代理）、安東忠企画部長、および井上信行別府市長からの祝辞をいただいた。在校生代表として、リトアニアからの国際学生のリサウスカス・ヴィテス君が英語で歓迎の挨拶を行い、新入生代表として、国内学生の緒方



弘太郎君が日本語と英語で、カンボジアからの国際学生のマオ・パリンさんが英語で挨拶を行った。在校生から新入生に花束を贈呈し、入学式を終了した。入学式には、新入生のほか、ウィスバーリスAPUアカデミック・アドバイザー（前駐日インドネシア共和国大使、ホストファミリー、新入生の父母、二〇〇名を超える在校生が参加した。

米NFLとの協定科目

「21世紀のプロスポーツビジネス」開講
―ニューヨークから講師招聘―

九月二十六日より、経営学部でNFL（米ナショナル・フットボール・リーグ）との協定科目「21世紀のプロスポーツビジネス」が開講した。NFLが日本の大学等と協力協定を結ぶことは初めて。



一月七日の講義では、NFLライントナショナルシニアディレクターのゴードン・スミートン氏を迎え、「アメリカ社会とNFL―アメリカ同時多発テロ事件とNFLの責務―」と題したレクチャーを行った。

その中で氏は、「アメリカンフットボールはアメリカ社会の中で重要なポジションを占めている。週末には家族でNFLの試合を見て過ごすというアメリカの日常生活に、この同時多発テロは大きな衝撃を与えた。試合が中止されたとき、その再開に際してNFLがポジティブな姿を国民に示そうと考えたのは、ある種の「責任感」によるものだ」と語った。また、アメリカンフットボールは世界中の人々に精神の高揚をもたらすという考えにたち、日本での普及にあたって、「国であり、自治体であり、大学であり、それぞれのコミュニティに受け入れられ、溶け込んでいくことが重要。全世界に受け入れられる活動を進めたい」とも話し、立命館大学との連携・協同により、その活動が一層進展すると期待を述べた。

アート・リサーチセンター 「二〇二〇年度秋季連続講演会」開催

アート・リサーチセンターによる、二〇二〇年度秋季連続講演会が開催された。連続講演会は四回シリーズで、芸術分野の現場に携わる方を中心に構成された。

第一回「ジャワ舞踊における伝統と現代」
レクチャー＆ワークショップ」は一〇月三〇日、舞踊家・振付家のシルベスター・パマルディ氏(インドネシア国立芸術大学スラカルタ校教官)とその門下の富岡三智氏を迎えた。



まず古典舞踊やコンテンポラリー作品の創作舞踊の映像を交えながら、ジャワ舞踊の伝統や精神が現代にどう受け継がれ、どう変化しているかなどを説明された。後半のワークショップでは、参加者約二〇名が体を動か

かし、ジャワ舞踊を体験し、なごやかな雰囲気の中に終了した。第二回以降は次の通り。

■第二回(十一月九日)

「UKIYO E(浮世絵)」―広重画『京都名所之内祇園社雪中』摺り表演など」

「講師」佐藤木版画工房 佐藤景三氏他

■第三回(十一月十五日)

「能役者による新作能―創作の内側」

「講師」観世流シテ方 青木道喜氏

■第四回(十一月二十五日)

「無声映画 等持院に還る!―第二弾 甦るマキノ映画」

「出演升土 澤登翠氏

文学部新展開記念連続講演会を開催

標記講演会が、衣笠キャンパスにて行われた。九月二十九日、その第一回として、以学館一号教室において、「スクールカウンセラーを目指す―その理想と現実―」が開催された。講師には、臨床心理士で京都市のスクールカウンセラーを務められている松木繁氏と栗田万記子氏を迎え、三〇〇名を超える聴衆を集



また栗田氏は、社会人学生として学び、臨床心理士の資格を取得してスクールカウンセラーに至るまでの様々な苦労や肉体的な遍歴の様子を感動深く話された。

この講演は、今年度、教育人間学専攻が新設されたことを記念して開催されたが、教育人間学専攻の学生だけではなく、他学部の学生や院生、また、学外の一般の方や他大学の学生や院生も聴講し、近年の「こころと教育」に対する関心の高さをうかがわせた。第二回以降は次のように続いた。

■第二回(十一月二十二日)

「応用倫理学とは何か?―生命と環境と哲学」

■第三回(十一月二日)

「現代社会における心理学の役割」

■第四回(十一月六日)

「デジタルアーカイブが引起す人文科学研究革命

モリス・ストロング国連事務次長・平和大学長 APUと衣笠キャンパスへ来学

三〇余年にわたって地球環境政治のリーダーであり続けてきたモリス・ストロング国連事務次長・平和大学学長は、十一月二日 APUへ来学し、坂本和一学長らと記者会見を行い、国連が設立した平和とAPUおよび立命館大学とが将来的にジョイントプログラムを組み交流していく方向を明らかにした。また、同キャンパス内のミレニアムホールで「地球環境セキユリティの展望」と題して講演を行った。



翌二七日には、衣笠キャンパス以学館二号ホールでストロング氏の講演会と国際学術シンポジウム「21世紀の地球環境ガバナンス」が開催された。二二世紀の地球社会が進むべき道についての講演が行われ、満員の学生が傾聴した。終了後、中川会館において、長田豊臣総長から同氏に立命館大学名誉博士の学位が授与された。

国際平和ミュージアム特別展 「ベトナムの子どもたちが描く、せかい」 同時開催「石川文洋のとらえたベトナム・フォトドキュメント」

一〇月二六日から十一月五日まで、国際平和ミュージアムで特別展「ベトナム子ども絵画展」と「石川文洋のとらえたベトナム・フォトドキュメント」が開催された。ベトナムのホーチミン市戦争証跡博物館に寄せられた子ども達の絵の中から、平和や戦争、世界の友達などをテーマにした作品約二〇〇点を展示したもの。



初日のオープニング・セレモニーでは、ホーチミン市戦争証跡博物館のグエン・クオック・フン館長、写真家石川文洋氏の両氏から挨拶があった。フン館長は昨年・今年一月の沖繩での開催に引き続き、今回は日本の大学で唯一の平和ミュージアムでの開催が、多くの人々にベトナムの子どもたちの戦争や平和をテーマにした絵画を見てもうら機会となることに、大きな喜びを表していた。戦争時からベトナムを追いつづけた写真家石川氏は、戦中・戦後のベトナムの写真をもとに、不発弾や枯葉剤の影響、家庭崩壊、いまだ見つからない行方不明者などの戦争の傷跡が、いつ終わるかわからない悲劇として続いていることを紹介し、子どもたちが絵画に託した願いとともに、「戦争とは何か」を語られた。

来場者は、戦争の影響が残る子供たちの絵と、苦しみの続く民衆の写真を食べい入るように見つめていた。

学生の スポーツ&イベント

フェンシング部

■関西学生選手権

男子団体 エペ 優勝

女子団体 エペ 準優勝

男子個人 フルーレ 2位 森田篤哉(産社3回生)

女子個人 エペ 2位 成田絢子(文3回生)

女子個人 サブル 1位 池田真奈美(文3回生)

ホッケー部

男 子

■全日本学生選手権大会 優勝(初)

■全日本選手権大会 優勝(初)

女 子

■西日本学生選手権大会 3位



全日本学生選手権大会、法政大学との決勝戦。優勝決定の瞬間。

ヨット部

■全日本学生選手権 総合9位

ラグビー部

■関西大学リーグ 優勝(55年ぶり2回目)

6勝1敗

全国大学選手権大会 出場決定

12月16日(日)開会。年末から年始にかけて行われます。

ラグビー同志社大学戦 観戦記

●立命スポーツ編集局 丸橋 香奈(産社1回生)

11月11日、全勝対決となったラグビー同志社戦。立命館は開始早々、スタンドオフ中村がトライを決め先制。しかしその後逆転され、13点のリードを許したまま前半を折り返す(13-26)。迎えた後半、足の止まった同志社に立命館が反撃を開始。29分、ウイング高木がこの日3本目となるトライで逆転すると、終盤には中村がドロップゴールを成功させ、試合を決めた(40-31)。53年ぶりにあげた同志社からの白星。昨年完封負けを喫した悔しさが、彼らに歴史的勝利をもたらした。



立命館の反撃。同志社ディフェンスの裏へ抜けて走るスタンドオフ中村。時計の針は後半19分を指し8点のビハインド。

男子陸上競技部

■日本学生対校選手権大会(9月30日)

800m 4位 笹野浩志(経営4回生)

■全日本大学駅伝対校選手権大会(11月4日)

熱田神宮-伊勢神宮 20位

女子陸上競技部

■日本学生対校選手権大会(9月29日)

10000m 優勝 大山美樹(経済4回生)

■全日本大学女子駅伝対校選手権大会

(11月25日、大阪) 5位

A P U スポーツ



女子陸上競技部

■全日本大学女子駅伝対校選手権大会

(11月25日、大阪) 20位

文化・芸術

問い合わせ先：学生センター

075-465-8141

ABC ESS

■「NAFA Kamigata Tournament」(11月3~4日)

ディベート ペア 全国3位

外山竜也(理工3回生)、峯岸哲平(経営3回生)

ディベーター個人評価 全国1位

外山竜也(理工3回生)

モダンジャズバレエ部

■中野ダンスコンペティション(10月28日)

群舞賞受賞(団体として演舞した出場者の中で最高の評価)

陶芸部

■妙心寺金牛院で陶芸展を開催(10月4日~8日)

珠算部

■全日本通信珠算競技大会(10月)

団体優勝(4年連続)

S P O R T S & E V E N T

ス ポ ー ツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863



アイスホッケー部

- 関西氷上競技選手権大会2次リーグ 優勝
- 日本学生氷上選手権大会
2002年1月6日～9日
群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク



アメリカンフットボール部

- 関西学生リーグ
ディヴィジョンI 6勝1敗 2位

アメフト関西学院大学戦 観戦記

●立命スポーツ編集局 西村 幸（文3回生）

11月11日、アメリカンフットボール部パンサーズの関学戦。これまで両者全勝を守り、勝ったチームが甲子園ボウルに大きく近づくという大一番。試合は前半、テンポの良い攻撃から関学が主導権を握る。第1クォーターにフィールドゴールで0-3とされ、さらに第2クォーター、この日両チーム合わせて唯一となるタッチダウンを奪われ0-10。しかし後半はパンサーズ自慢のショットガンオフェンスで猛追を見せる。キッカー鍋木の2フィールドゴールで6-10とすると、追い風は立命館に吹き始めたかに見えた。だが無情にも時計は0を指す。真の強さを身につけた関学に今年も涙をのんだパンサーズ。リベンジは来年へと持ち越された。



1回生のワイドレシーバー長谷川がボールをキャッチして前進



弓道部

- 全日本学生選手権大会
女子団体 ベスト8
男子個人 3位 馬場直樹（文4回生）



硬式野球部

- 関西学生野球秋季リーグ戦 5位
*小川裕介（投手、文4回生）、肥田高志（中堅手、産社4回生）の2名がオリックスへ、藤原通（三塁手、産社4回生）が阪神へ入団決定。



サッカー部

- 関西学生秋季リーグ
5勝3敗1分 勝ち点16 4位
- 関西学生秋季リーグ（女子） 4位



射撃部

- 秋季全関西学生選手権大会 総合優勝
- 全日本学生選手権 総合3位
スモールボアフリーライフル三姿勢60発競技
1位 目次美香（法4回生）



準硬式野球部

- 関西六大学秋季リーグ
優勝（3季ぶり23回目）
- 関西地区選手権大会 優勝



スケート部

- 全日本距離別選手権
女子 500m 2位 神野由佳（文3回生）
1000m 3位 神野由佳（文3回生）
1500m 2位 神野由佳（文3回生）



卓球部

- 関西学生秋季リーグ
男子 優勝
女子 優勝



男子ソフトボール部

- 関西学生秋季リーグ 準優勝



女子ソフトボール部

- 関西学生秋季リーグ 4位



ソフトテニス部

- 関西学生リーグ
男子 入替戦 1部復帰
女子 1部リーグ5位



軟式野球部

- 関西六大学学生秋季リーグ 準優勝



男子バスケットボール部

- 関西学生秋季リーグ 7位



女子バスケットボール部

- 関西学生秋季リーグ 3位



バドミントン部

- 全日本学生選手権大会
女子団体 3位
女子シングルス 1位 上田絵美（産社3回生）



バレーボール部

- 関西学生秋季リーグ 4位

編集室から

＊司法制度改革は裁判員制度など国民の司法に対する参加も視野に入れているが、どのように具体化されるのか、国民の側でも活発な動きが必要である。そして、'04年から新たな法律家養成システムが始動する。日本版ロースクールがそれである。そして時代は様々な思惑をこえ、ロースクールへ向けて動き出しており、具体的な枠組み、内容については今後極めて早いピッチで固まっていく。'02年を通じての重要な課題であり、本号でその動きを取り上げてみた。(お)

＊編集に携わって良かったと思う。仕事等で余裕のない日が続き疲れもたまっているが、取材や編集会議を終えた後は、不思議と元気が湧いてくる。損得や義務・権利というものから離れたところで話ができるということはその大きな理由だと思う。「衣笠球場」の取材でも、大先輩方が友人のように快く応じて下さった。それにしても、当初は何の説明もなく始まった勤務奉仕について「大変でしたわ」と安易に口にしたところ、「紙一枚で戦争に駆り出された時代、勤務奉仕など大した事ではなかった」とさうりと話された。自分にこの遅しさがあるだろうかと思うと同時に、目の前の先輩方にその学生時代の姿が重なって見えた。(哲)

＊「あのディズニーシーで働いている校友がいる」との情報を得て、故郷千葉県での初取材となった。千葉というより東京の様相を感じるの、離れてから30年近くもたってしまったからなのだが、入場して唖然然、私は声も出ない。ここは日本のはず。浦島太郎じゃあるまいし？ ディズニーにもUSJにも行かないと決め込んでいた時代遅れの私は…。真っ青な空と海に囲まれた園内の素晴らしさは申すまでもなく、ショーにも度肝を抜かれ、テンション上がりっぱなし。あっという間に取材終了。夕焼け色に染められたディズニーシーを想像しながら「リピーターになるぞ」と決め込んだ中年の私。どこか恥ずかしそうに後にするのはやはり歳か？ なお、今回お世話になったディズニーの広報担当、千々岩鏡子さんも校友('90産社)でした。有難うございました。(オ)

＊明るい話題の乏しい昨今ですが、せめて『りつめい』誌面では、あたたかく元気の出るような話をご紹介したいものです。炬燵に蜜柑、家族団楽に鍋料理、そして校友の輪に『りつめい』。今後もご愛読下さい。(寺)

りつめい No.207／年4回発行

発行所／立命館大学校友会

編集人／尾崎 敬則

発行人／河原 四郎

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

Tel. 075 (465) 8120・8124

Fax. 075 (465) 8125

http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/

I N F O R M A T I O N

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
静岡県浜松会懇親会	1月20日(日) 17:30	ホテルコンコルド浜松	依田留也 053 (458) 2111

校友消息(判明分)

叙勲 2001年秋分

□ **勲三等瑞宝章**
河野一弘氏('55法) 元検事
河原四郎氏('56経済)
元大同生命社長・会長
□ **勲四等旭日小綬章**
道端 進氏('53経済)
京都中央信用金庫理事長
□ **勲四等瑞宝章**
古賀伊佐夫氏('52経済)
税務行政事務
□ **勲五等双光旭日章**
塩見 博氏('44専工)
人権擁護
森脇 功氏('49専文) 教育
中 正文氏('51経済) 教育
来間 康氏('54理工)
建設業振興

春好幸雄氏('57法) 税理士
□ **勲五等瑞宝章**
野井行雄氏('53文) 教育
中嶋仁道氏('54文) 矯正教育

叙勲 2000年春分

□ **勲二等瑞宝章**
大野孝英氏('53法) 裁判官

褒章 2001年秋分

□ **藍綬褒章**
亀佐一郎氏('47専法経)
更生保護
中村弥一郎氏('53経済)
更生保護
三上道氏('65文) 社会福祉

受賞

藤田宣行氏('56法)
福井市文化奨励賞

笹野頼子氏('80法)
泉鏡花文学賞『幽界森娘異聞』
武田美保氏('99産社)
京都府あげぼの賞

表彰

安藤忠男氏('43大専経済)
厚生労働大臣表彰「現代の名工」
(継人形着付師)

就任

岡田 広氏('69産社)
水戸市市長(三選)
鶴崎 功氏('69経済)
神戸市助役
林 広敏氏('62理工)
日本自動車連盟理事
能勢昇一良氏('64経済)
日本自動車連盟理事

訃報

足立政男氏(本学名誉教授)
8月5日ご逝去。85歳。
金光邦三氏('18大専法)
元兵庫県校友会会長。
初代魚津市長。
11月9日ご逝去。104歳。
保井浩一氏('41大専法)
前滋賀県校友会会長。
元東映フライヤーズ監督。
11月17日ご逝去。80歳。
三上健二氏('44法文)
元福井県校友会会長。
11月15日ご逝去。83歳。
渡辺 義氏('45専工)
元日東精工社長。
10月10日ご逝去。77歳。

各種国家試験合格者(判明分・敬称略)

◎司法試験

青砥洋司('85法)
村上勝也('93法)
高橋美知代('94法)
佐藤達哉('95法)
井町菊恵('97法)
吉田尚史('97院法)
矢吹真理子('98法)
今津泰輝('99文)
伊藤信彦('99法)
長谷川武治('99法)
駒田英隆('00院法)
牧野誠司('法3)

◎公認会計士試験

池尾美枝('93経済)

◎国家公務員1種試験

多屋勝範('96経営)
岡崎 聡('97経営)
田中淑寛('97経営)
菊池健太郎('98経営)
黒田沢四郎('98政策)
岩崎香織('99法)
三井孝宣('99理工)
内田尚良('00経営)
越田 圭('00経営)
宇佐美貞人('01経営)
岡尾竜平(経営4)

◎国家公務員1種試験

中村 寛('99法)
丸山栄治('00院文)
松井宏樹('00経済)

◎外務省専門職試験

奥村哲也(院理工M2)
神山雄平(院理工M2)
荒川 豊(院法研修生)
間定里枝(院法M1)
谷岡 晋(院法M1)
大林 晋(法4)
白鳥 徹(法4)
前川洋平(法4)
三尾貴志(法4)
吉川将生(法4)
山下邦子(経済4)
魚井宏泰(理工4)
長谷川浩平(理工4)
水上 新(国関5)

お知らせ

●あなたの最新の校友情報をお知らせ下さい

お名前・ご住所・電話番号・勤務先等に変更が生じましたら、その都度、校友会事務局までご連絡下さい。常に最新の情報をお知らせ下さいますようご協力をお願いいたします。

【住所等変更通知専用フリーダイヤル】

Tel. 0120-252094 Fax. 0120-252095

なお、郵便のご利用や、校友会ホームページの「登録内容変更入力フォーム」からデータをご送信いただく形でも変更連絡をお受けしております。

●名刺広告勧誘について

新聞・雑誌等の立命館大学に関する企画広告・名刺広告には、当校友会は一切関与しておりません。



校友会へご惠贈下さいました
本の中から紹介させていただきます。

◆西村誠一氏('61文) 著
『玄海瀟を越えて 北朝鮮脱出行』
新風舎 * 1 7 0 0 円

◆典厩五郎氏('63文) 著
『町衆の城』上・下巻
新人物往来社 * 各 2 0 0 0 円

◆タナック(北島周次氏・
'69経営) 発行
『大きな字の地図で京都歩こう』
人文社 * 1 2 3 8 円

◆川村匡由氏('69文) 監修
『短期集中講座 ケアマネジャー
試験対策問題集 2001年版』
じほう * 2 8 0 0 円

◆妹尾達彦氏('77文) 著
『長安の都市計画 講談社選
書メヂエ223』

講談社 * 1 5 0 0 円

◆半坂剛氏('81法) 共著
『最新技術解説 入門xDSL』

技術評論社 * 1 9 8 0 円

◆日本銅線活用研究会
(半坂剛氏他) 著
『まるごと図解 最新ADSL
がわかる』
技術評論社 * 1 7 8 0 円

価格が本体価格です。

●各種証明書発行依頼先について

あなたの最新の校友情卒業証明書・成績証明書などの発行依頼は、各学部事務局までお願いいたします。
二部(夜間種コース)卒業生の方につきましても同様に各学部事務局にて承っております。

【証明書発行依頼先】

■法学部・文学部・産業社会学部・国際関係学部・政策科学部…衣笠キャンパス
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
Tel. 075(465)1111 (代)

■経済学部・経営学部・理工学部…びわこ・くさつキャンパス
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
Tel. 077(566)1111 (代)